

審査対象事業一覧(総務文教分科会)

No.	重点	事業名	款	項	目	担当課	ページ
1		市役所本庁舎耐震改修事業(耐震対策)	2	1	28	総務課	1~5
2		市役所本庁舎耐震改修事業(老朽化対策)	2	1	28	総務課	
3		市役所本庁舎耐震改修事業(防災対策)	2	1	28	総務課	
4		FM波によるJ-ALERT(全国瞬時警報システム)情報伝達事業	2	1	13	総務課	6~7
5		埴生分団庫整備事業	9	1	2	消防課	8~8
6		地域おこし協力隊募集事業	2	1	1	地域活性化室	9~12
7	②	埴生小・中学校整備事業	10	2	3	教育総務課	13~20
8		埴生小学校グラウンド法面整備事業	10	2	3	教育総務課	21~22
9	③	シティセールス推進事業	2	1	10	シティセールス課	23~25
10	③	シティセールスPR強化事業	2	1	10	シティセールス課	26~27
11	③	観光プロモーション事業	7	1	4	シティセールス課	28~30
12	③	県央連携事業(広域プロモーション等)	7	1	4	シティセールス課	31~31
13	③	県央連携事業(山口ゆめ回廊博覧会市主体事業)	7	1	4	シティセールス課文	32~38
14		学校給食費公会計導入事業	10	6	2	学校給食センター	39~40
15		RPA及びAI-OCR導入・活用事業	2	1	9	デジタル推進室	41~44
16		帳票類アウトソーシング事業	2	2	2	税務課企画課	45~47
17	②	GIGAスクール端末整備事業	10	2	2	学校教育課	48~48
18		GIGAスクール家庭学習推進事業	10	2	2	学校教育課	49~49

審査対象事業一覧(民生福祉分科会)

No.	重点	事業名	款	項	目	担当課	ページ
19		社会保障生計調査事業	3	3	1	社会福祉課	50~51
20	②	子育て総合支援センター管理・運営事業(子育て総合支援センター事業)	3	2	8	子育て支援課	52~52
21	②	山陽地区公立保育所整備事業	3	2	4	子育て支援課	53~53
22	②	公立保育所事故防止推進事業	3	2	4	子育て支援課	54~59
23	②	放課後児童対策事業(放課後児童クラブ)	3	2	6	子育て支援課	60~61
24	②	子ども医療費助成拡充事業	3	2	2	子育て支援課	62~63
25	②	発育・発達事業(療育教室)	4	1	1	健康増進課	64~64
26	②	妊婦健康診査事業(歯科健診)	4	1	1	健康増進課	65~65

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 総務課 庁舎耐震対策室 事務事業番号 109010101

大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
施策体系	2	市民生活・地域づくり・環境・防災	9	防災体制の充実	1	防災対策等の充実	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
	1	防災体制整備事業(庁舎管理)	1	市役所本庁舎耐震改修事業(耐震対策)			政策的
事業概要	本庁舎本館は昭和38年竣工。平成26年度に耐震2次診断を実施し、その結果を受け、庁内プロジェクトでの協議を経て、現庁舎を今後20年程度使用することとし、耐震補強工事を実施する。平成30年度には必要な業務委託を行って、令和元～2年度で工事を施工する。				対象	市役所本庁舎	
					手段	本庁舎耐震化に係る設計等を行い、工事を施工する。	
					意図	防災拠点としての機能強化を図るとともに、行政機能を確保する。	

事業期間	H29以前	年度	～	R3	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	測量調査委託料	2,910千円	耐震補強工事費	186,594千円	手数料	44千円	監理委託料	4,587千円		
	調査設計委託料	10,305千円	確認申請等手数料	1,239千円	消耗品費	73千円	手数料	956千円		
	地質調査委託料	9,695千円	工事監理委託料	1,613千円	工事請負費		工事請負費	105,814千円		
	立木伐採委託料	6,651千円	消耗品費	91千円	耐震補強工事	178,977千円				
	環境整備等委託料	635千円	実施設計調整業務	918千円	機械警備機器整備改修工事	530千円				
	手数料	432千円	環境整備等委託料	94千円						
	消耗品費	80千円								
合計		30,708千円		190,549千円		179,624千円				111,357千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債	100%	26,050千円	100%	188,900千円	100%	178,900千円	100%		111,300千円
	その他									
	一般財源		4,658千円		1,649千円		724千円			57千円
合計		30,708千円		190,549千円		179,624千円				111,357千円
人工数/人件費	0.60人	3,467千円	2.80人	15,082千円	1.21人	7,017千円				
総経費		34,175千円		205,631千円		186,641千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1 進捗状況	活動	実施設計等	一式	工事	工事	工事
		一式		進捗率	進捗率	
		100.00%		7.70%	89.50%	
2						
3						

成果	令和元年度に、建築主体・機械設備工事、電気設備工事及び工事監理業務委託に係る契約を締結し、着工している。工事内容の変更により、令和3年3月としていた工期について、同年6月まで延伸した。令和2年度末において、建築主体・機械設備工事の89.5%が完成している。					
R4年度に向けた課題及び改善策	耐震改修事業により、本庁舎の耐震改修、既存不適格部分の老朽化改修及び電気設備の防災対策はなされるが、狭小な待合、多様化した業務に対応できていない老朽化した執務スペース、耐用年数を経過した空調設備等について、庁舎の環境を改善する必要がある。					
目標達成度	B	R4年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R3	
特記事項	繰越明許費 111,357千円 (R2年度からR3年度)					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 総務課 庁舎耐震対策室 事務事業番号 109010102

大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)	
施策体系	2	市民生活・地域づくり・環境・防災		9	防災体制の充実
	実施計画名		事務事業名		重造プロジェクト スマイルエイジング 事業区分
	1	防災体制整備事業(庁舎管理)		2	市役所本庁舎耐震改修事業(老朽化対策)
事業概要		本庁舎本館は昭和38年竣工であり、老朽化が顕著となっている。庁内プロジェクトでの協議を経て、現庁舎を今後20年程度使用することとした。29年度は外壁劣化調査及び老朽化等調査を実施。その結果を踏まえ、耐震補強工事とともに、老朽化対策工事を施工する。		対象	市役所本庁舎
				手段	本庁舎老朽化対策に係る設計等を行い、工事を施工する。
				意図	防災拠点としての機能強化を図るとともに、行政機能を確保する。

事業期間	H29以前	年度	～	R3	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)			R1(決算額)			R2(決算額)			R3(予算額)
支出内訳				調査設計委託料	9,072千円	PCB調査委託料	222千円	監理委託料	9,757千円	
				監理委託料	2,305千円	廃棄物処分業務委託料	180千円	工事請負費	88,407千円	
				工事請負費		工事請負費		庁用器具費	1,000千円	
				老朽化対策工事	111,060千円	老朽化対策工事	80,797千円			
						庁用器具費	19,449千円			
合計					122,437千円			100,648千円		99,164千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債			75%	85,000千円	75%	68,600千円	75%	73,100千円	
	その他									
	一般財源				37,437千円		32,048千円		26,064千円	
合計					122,437千円		100,648千円		99,164千円	
人工数/人件費				0.50人	2,888千円	0.40人	2,320千円			
総経費					125,325千円		102,968千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1 進捗状況	活動	実施設計	一式	工事	工事	工事
			60.00%	進捗率	進捗率	
				7.70%	89.50%	
2						
3						

成果	令和元年度に、建築主体・機械設備工事、電気設備工事及び工事監理業務委託に係る契約を締結し、着工している。工事内容の変更により、令和3年3月としていた工期について、同年6月まで延伸した。令和2年度末において、建築主体・機械設備工事の89.5%が完成している。					
R4年度に向けた課題及び改善策	耐震改修事業により、本庁舎の耐震改修、既存不適格部分の老朽化改修及び電気設備の防災対策はなされるが、狭小な待合、多様化した業務に対応できていない老朽化した執務スペース、耐用年数を経過した空調設備等について、庁舎の環境を改善する必要がある。					
目標達成度	B	R4年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R3	
特記事項	繰越明許費 99,164千円(R2年度からR3年度)					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 総務課 庁舎耐震対策室 事務事業番号 109010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	2 市民生活・地域づくり・環境・防災		9 防災体制の充実		1 防災対策等の充実			
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
	1 防災体制整備事業(庁舎管理)		3 市役所本庁舎耐震改修事業(防災対策)					政策的
事業概要	本庁舎別棟は昭和38年竣工。平成26年度に耐震2次診断を実施し、その結果を受け、庁内プロジェクトでの協議を経て、解体することに決定した。 別棟の代替を建設し、食堂や売店を移設するほか、防災・情報セキュリティに係る部門や設備を集約することより機能強化を図るとともに、津波高潮対策として機能の確保を図るもの。				対象	市役所別棟		
					手段	別棟建築に係る実施設計を行い、工事を施工する。		
					意図	防災・情報セキュリティ拠点としての機能強化を図るとともに、行政機能を確保する。		

事業期間	H30 年度	～	R3 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳	調査設計委託料	11,271千円	調査設計委託料	13,009千円	工事請負費		監理委託料	3,020千円
			監理委託料	4,224千円	別棟新築工事	92,128千円	工事請負費	243,729千円
			工事請負費				庁用器具費	7,231千円
			別棟新築工事	188,415千円				
			車庫解体工事	11,510千円				
			受電施設・昇 電機更新工事	40,000千円				
	合 計	11,271千円		257,158千円		92,128千円		253,980千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債	100%・75%	8,800千円	100%・75%	211,000千円	100%・75%	72,900千円	100%・75%
	その他							
	一般財源		2,471千円		46,158千円		19,228千円	
	合 計	11,271千円		257,158千円		92,128千円		253,980千円
人工数/人件費			0.50人	2,888千円	0.40人	2,320千円		
総経費		11,271千円		260,046千円		94,448千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1 進捗状況	活動	実施設計	一式	進捗率	進捗率	
			100.00%	7.70%	89.50%	
2						
3						

成果	令和元年度に、建築主体・機械設備工事、電気設備工事、高圧受変電設備工事及び工事監理業務委託に係る契約を締結し、着工している。工事内容の変更により、令和3年3月としていた工期について、同年6月まで延伸した。令和2年度末において、建築主体・機械設備工事の89.5%が完成している。					
R4年度に向けた課題及び改善策	耐震改修事業により、本庁舎の耐震改修、既存不適格部分の老朽化改修及び電気設備の防災対策はなされるが、狭小な待合、多様化した業務に対応できていない老朽化した執務スペース、耐用年数を経過した空調設備等について、庁舎の環境を改善する必要がある。					
目標達成度	B	R4年度に向けた方向性				
	成果	完了	コスト	R3		
特記事項	繰越明許費 253,980千円(R2年度からR3年度)					

市役所本庁舎整備事業(建築主体工事・機械設備工事)

工事期間

着工日 (契約締結後) 令和 元年 10 月 30日
竣工日 令和 3年 6 月 11日

[591E]

全体工程表

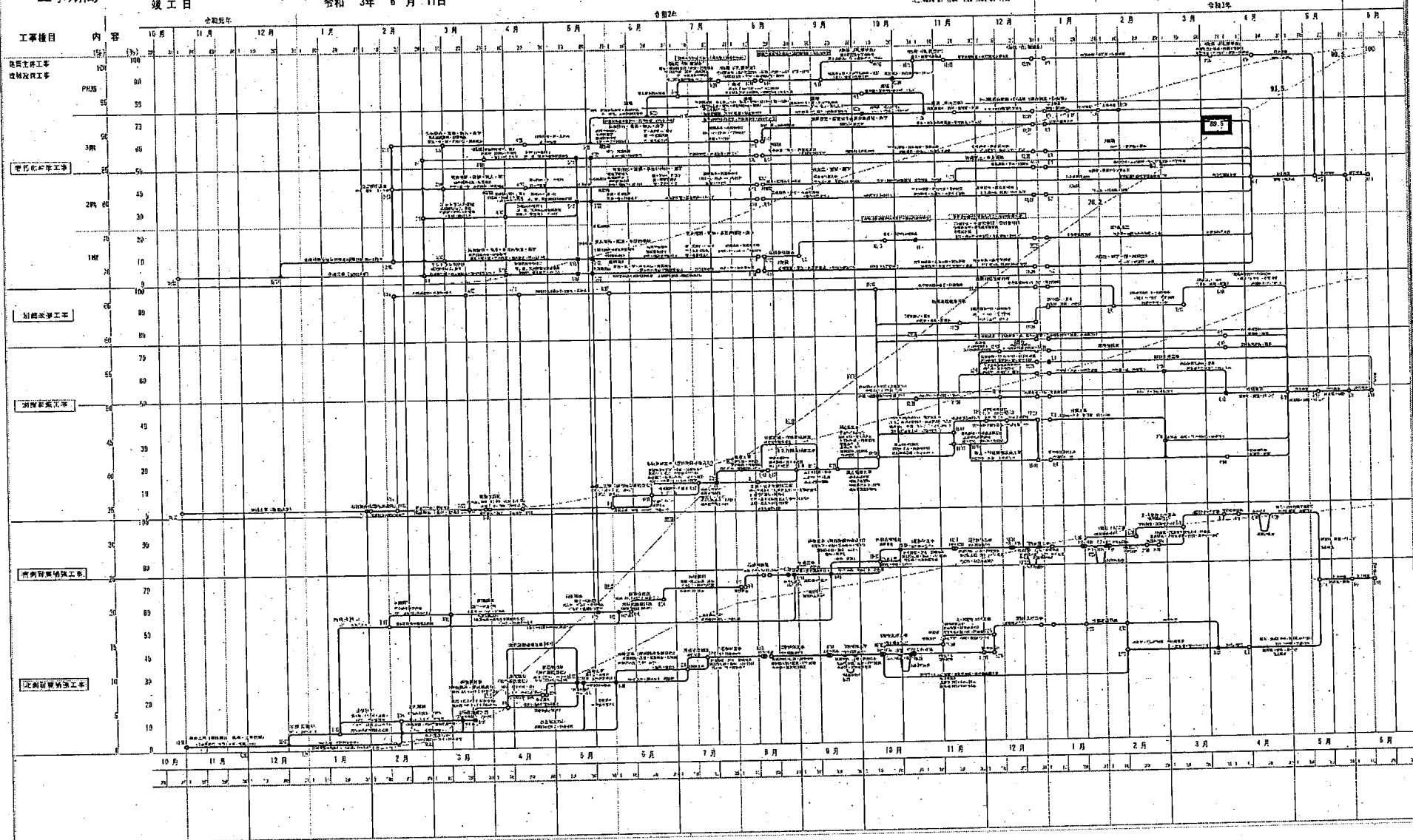
出版与工程类图书目录 (按理工农医·机械电气类)



国長栄建設株式会社

[illegible]

建 議 書					作成年月日
建議題目	主 任 監 督 員	監 督 員	工事執行者	建議代理人	令和2年10月30日
建 議 書	知 照	池 井 佳 修 典		的	
(止本 致之)	(原稿 附録)	(敬本 賢典) (申請 課長)	(推薦 課長)	(富 賢 賢)	(作成 敬典) 義 典 池 井



令和2年度 決算整理表

22-1-1 総務債

単位(円)

歳入	当初予算額	収入済額(内数)
1節 総務管理債	713,900,000	
地方債区分:一般事業		
庁舎整備事業債		123,000,000
庁舎整備事業債(繰越)		3,100,000
地方債区分:緊急防災・減災事業		
庁舎整備事業債		194,300,000
合計		320,400,000

2-1-28 本庁舎改修事業

単位(円)

歳出	当初予算額	12月補正	繰越明許費	最終予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	備 考
11節 需用費	100,000			100,000	72,601	0	27,399	
消耗品費					72,601			議場消耗品 駐車場整備資材
12節 役務費	1,000,000			1,000,000	44,000	956,000	0	【繰越明許費】 本庁舎完了検査手数料 エレベーター2基建築確認申 請、完了検査手数料
手数料					44,000			【繰越明許費】 工事監理委託料
13節 委託料	15,600,000	4,360,000		19,960,000	1,900,400	17,363,900	695,700	本庁舎蛍光灯PCB調査
PCB調査委託料					221,100			
アスベスト調査委託料					0			
廃棄物処分業務委託料					179,300			工事に伴う産業廃棄物処分
工事監理業務委託					0			
設計委託料(環境改善事業)					1,500,000			実施設計見直し業務
15節 工事請負費	791,050,000			791,050,000	352,429,452	437,950,000	670,548	【繰越明許費】 本庁舎改修工事、工事請負費
建築主体工事・ 機械設備工事					351,900,000			部分払
電気設備工事					0			
高圧受変電設備工事					0			
電話設備移設工事					296,307			
機械警備機器撤去工事					92,565			
議会中継機器移設工事					140,580			
18節 備品購入費	25,711,000		6,500,000	32,211,000	19,448,330	8,231,000	4,531,670	【繰越明許費】 第2別館用備品購入費
繰 序用器具費 (議場物品製作購入)					6,500,000			令和元年度からの繰越明許費 議場机・椅子(4割相当額)
序用器具費 (議場物品製作購入)					11,142,130			議場机・椅子
序用器具費 (議場飛沫感染防止アクリル板)					1,053,800			
序用器具費 (議場理事席用椅子)					319,000			
序用器具費 (市民課カウンター)					93,500			
序用器具費 (第2別館電気設備用消火器)					339,900			

合計	833,461,000	4,360,000	6,500,000	844,321,000	373,894,783	464,500,900	5,925,317	
----	-------------	-----------	-----------	-------------	-------------	-------------	-----------	--

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)		総務課	危機管理室	事務事業番号	109010207
大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)	
施策体系	2 市民生活・地域づくり・環境・防災	9 防災体制の充実	1 防災対策等の充実		
	実施計画名	事務事業名	重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2 防災体制整備事業	7 FM波によるJ-ALERT(全国瞬時警報システム)情報伝達事業			政策的
	防災ラジオは、避難勧告等の発令をした場合に、必要に応じ、ラジオを自動で立ち上げ緊急放送を行っているが、J-ALERT(全国瞬時警報システム:緊急地震速報、弾道ミサイル情報など)とは連動していない。特に緊急地震速報を放送すべきとの意見が多いため、J-ALERTと連動させるとともに、無線LANによる多重化を進め、緊急時には本庁舎からも緊急放送を行うことのできるシステムを構築する。更に、既存の小・中学校等の放送設備とも連動させ、緊急放送を一秒でも早く、児童、生徒、防災ラジオ購入者に伝える。		対象	市民、事業所、自治会、自主防災組織、災害時要援護者関連施設	
事業概要			手段	J-ALERT(全国瞬時警報連携システム)と防災ラジオ起動装置との連動、既存放送設備	
			意図	市への災害時の情報発信手段の更なる多様化を図る。	

事業期間	R1 年度	～	R7以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
			調査委託料	233千円	機械器具費	16,374千円	通信運搬費	203千円
			(放送設備連携調査費)		通信運搬費	41千円	(VPN回線使用料)	
					修繕料	61千円	電波利用料	7千円
					手数料	5千円		
					電波利用料	7千円		
					工事請負費	385千円		
	合 計			233千円		16,873千円		210千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債				100%	16,300千円		
	その他							
	一般財源			233千円		573千円		210千円
	合 計			233千円		16,873千円		210千円
人工数/人件費			0.10人	578千円	0.25人	1,450千円		
総経費				811千円		18,323千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1 J-ALERT(全国瞬時警報システム)・防災ラジオ連携	活動				一式	
					一式	
					100.00%	
2 既存放送設備連携	活動				一式	
					一式	
					100.00%	
3 既存放送設備連携調査	活動			調査実施		
				調査完了		
				100.00%		

成果	市内の小中学校等の既存の放送設備に、防災ラジオとJ-ALERTの連携が可能な機器を設置。4月1日から予定どおり運用を開始することができた。				
R4年度に向けた課題及び改善策	同報スピーカー(4基)を含む35か所の放送設備を維持管理していく。				
目標達成度	R4年度に向けた方向性				
	A	成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	市内小中学校等の既存放送設備に防災ラジオとJ-ALERT連携がある程度終了したため、今後は維持管理費のみとなる。				

F M波によるJアラート情報伝達事業 運用マニュアル（概要版）

～放送設備を用いた緊急情報の配信について～

令和3年3月

事業について

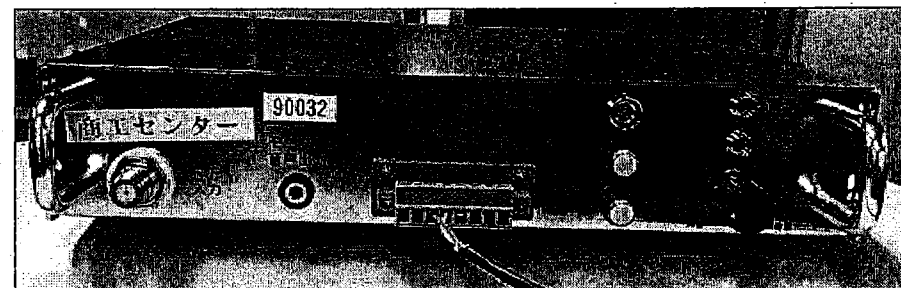
F M山陽小野田のF M波（89.7 MHz）を用いて、防災ラジオ及び、既存の放送機器を自動起動し、Jアラートや市の避難情報などの緊急情報を広くお知らせします。

自動放送される情報（既存の放送機器）

	J-ALERT情報(国)	避難情報(市)
緊急放送	緊急地震速報	警戒レベル5 緊急安全確保
	大津波警報	警戒レベル4 避難指示
	気象特別警報 (大雨、高潮等)	警戒レベル3 高齢者等避難
	国民保護情報 (ミサイル情報等)	
訓練放送	緊急地震速報(年2回) →例年6月、11月	

設置機器について

○外部出力受信機（基本的に触らないでください。）



音量の調整

○施設ごとに音量調整の方法が異なります。

また、音量調整がそもそもできない施設もございます。

詳細は、市総務課危機管理室にお問い合わせください。

訓練放送について

○毎年度2回、全国一斉の緊急地震速報伝達訓練の機会に 訓練放送を実施します。放送の有無の報告をお願いします。

例年6月と11月に実施されますが、詳細な日程が決まり次第、危機管理室からお知らせいたします。

○訓練放送にあわせて施設で訓練を実施した場合は、危機管理室にメール又はFAXで報告してください。（参加人数、訓練概要等）

○放送試験日に都合が悪く、放送しない場合は、設置機器のACアダプターを抜いてください。

※訓練終了後、付けることを忘れないようご注意ください。

お問い合わせ先

山陽小野田市総務課危機管理室

Tel: 0836-82-1122 Fax: 0836-83-2604

Mail: soumu@city.sanyo-onoda.lg.jp

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)		消防課	庶務係	事務事業番号	108020202
大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)	
2	市民生活・地域づくり・環境・防災	8	消防・救急体制の充実	2	消防団活動の推進
実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング
2	消防団施設・資機材の整備事業	2	増生分団庫整備事業		政策的
事業概要 増生分団庫は老朽化により、新たに増生分団庫を建設するものである。現在の増生分団庫は増生支所に併設されており、令和2年度に解体されるため、現在の場所に新分団庫を建設するものである。令和2年度に実施設計を行い、令和3年度に建設工事を行う。また、現分団庫を解体したため、JAの倉庫を仮の分団庫として借上げている。		対象	老朽化した増生分団庫		
		手段	隣接する増生支所の建替えに伴い解体し、新たに建設する。		
		意図	増生分団員の参集、出場に支障のない場所に建設し、増生地区の防災拠点を整備し、防災機能の維持を図る。		

事業期間	R2 年度	～	R3 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					設計委託料	2,090千円	工事請負費(建設工事)	32,032千円
					用地借上料	25千円	確認申請手数料	14千円
							用地借上料	60千円
合計						2,115千円		32,106千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金						100%	28,607千円
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					2,115千円		3,499千円
合計						2,115千円		32,106千円
人工数/人件費					0.35人	2,029千円		
総経費						4,144千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	事業の完成	活動			設計委託 完了 100.00%	建設工事
2						
3						

成果	令和2年度は実施設計を行った。				
R4年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
	成果	完了	コスト	R3	
特記事項	令和4年度に教育委員会にて擁壁工事を行う予定となっている。				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)		地域活性化室	地域活性化室	事務事業番号	112030102
施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災	12	地域づくりの推進	3 中山間地域の活性化
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト スマイルエイジング 事業区分
事業概要	1	中山間地域づくり推進事業	2	地域おこし協力隊募集事業	政策的
	中山間地域においては、農林業従事者の減少、高齢化の進行により、荒廃した森林や耕作放棄地が増大しているが、高齢化等による担い手不足により集落機能の維持が困難となっている。地域の課題解決のため、地域おこし協力隊を導入するが、実際に目にしたくない地域にいきなり定住等を検討することは難しいと思われる。そこで、地域おこし協力隊として活動する前に、一定期間、地域協力活動を体験し、山陽小野田市についての理解を深め、協力隊の応募検討材料の一つとして活用できるように努める。また、受入地域とのマッチングを図る。				対象 地域協力活動に興味がある方、受入地域、受入自治体の三者 手段 住民との交流を含む2泊3日以上地域協力活動の体験プログラムを実施する。 意図 中山間地域の活性化

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					消耗品費	25千円	普通旅費	548千円
					やまぐち元気！むらまち交流	50千円	燃料費	69千円
					推進協議会負担金		印刷製本費	94千円
							地域交流イベント委託料	280千円
							宿泊施設借上料	144千円
							地域おこし協力隊募集ブース設置費	100千円
							その他	82千円
合計						75千円		1,317千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					75千円		1,317千円
合計						75千円		1,317千円
人工数/人件費					0.20人	1,160千円		
総経費						1,235千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1 地域おこし協力隊募集案内資料作成	活動		—	募集案内作成	チラシ作成	チラシ作成
			—	募集案内作成	チラシ作成	
				100.00%	100.00%	
2 地域おこし協力隊勧誘	活動		—	2回	5回	5回
			—	2回	1回	
				100.00%	20.00%	
3 地域おこし協力隊おためし体験	活動		—	—	4人	4人
			—	—	0人	
					0.00%	

成果	1 地域おこし協力隊募集用とおためし地域おこし協力隊用のチラシを作成した。 2 第4回YY！ターンカレッジに参加し、オンライン上で地域おこし協力隊の募集を行った。 3 おためし地域おこし協力隊実施要綱の素案を作成した。					
R4年度に向けた課題及び改善策	1 紙媒体のみの募集に関わらず、市やJOIN(一般社団法人移住・交流推進機構)のHP等を活用し、さらに広域的な募集活動を行っていく。2 コロナ禍に対応したオンライン上での募集活動と既存の都市圏で行われる募集活動に参加できるような体制づくりを行う。3 事前に受入地域と協力隊希望者と自治体のミスマッチを防ぐためのおためし体験プログラムを作成する。					
目標達成度	D	R4年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

山口県

山陽小野田市

in 川上地区

レッツ！農トレ

～ Let's! Notore ～

川上地域で、田舎の暮らし、農業、6次産業化を試すことができます。

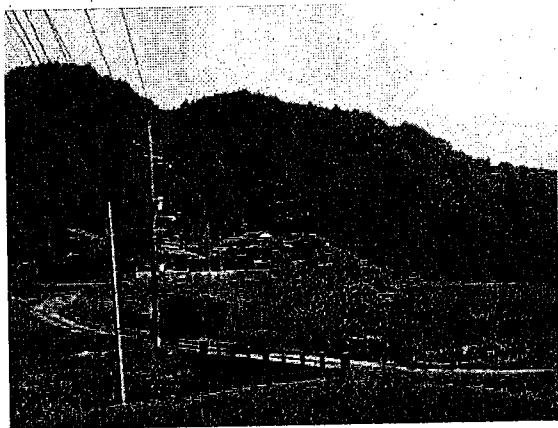
ミッションは定住ですが、川上地域の活動支援や農事組合法事川上営農組合の農業支援を行いながら、地元産品を活用した商品の開発支援、地域見守り活動、地域イベントの運営補助に取り組んでいただきます。

取組方によっては、農業や商品開発の支援員から新規就農に従事することもできますので、自分のレベルに合わせて地域活動にチャレンジできます。

川上地域の「地域おこし協力隊」になって毎日農トレ！

レッツ！農トレ！

「農トレ」募集中



川上地区 おためし地域おこし協力隊募集！！

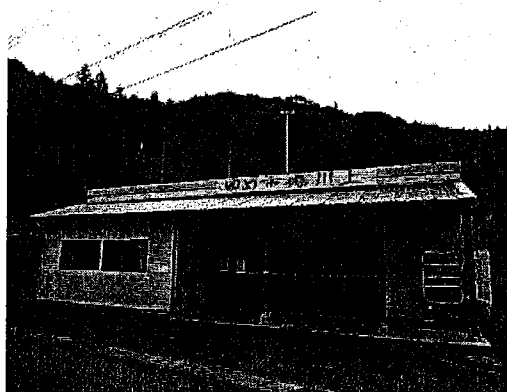
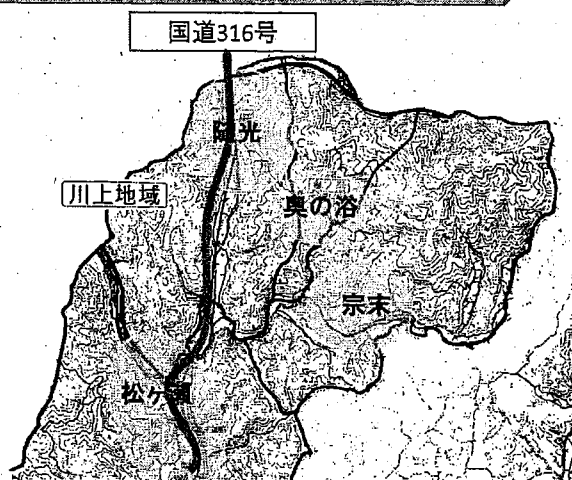
川上地区ってどんなところ？

山陽小野田市の北部に位置し、随光・奥の谷・宗末・松ヶ瀬の4地区で形成

され、拠点となるゆめ市場川上と国道316号が通っており、地域資源を活用

して特産品の販売や6次産業化を行うことで活性化を図っている地区です。

特産品は、「寝太郎かぼちゃ」で他のかぼちゃより甘く、上品な味です！！地元ではスイーツの原料としても使われています！！



川上地区おためし地域おこし協力隊になるメリットは？

2泊3日のおためし活動を行うことで、あなたが想定する業務と実際に地域おこし協力隊となった時の業務とのギャップを軽減させます。

また、地域の方々と実際に交流することで、よりリアルな川上地区を知ることができ、地域おこし協力隊としてチャレンジしたいことを具体的に考えることができます。

川上地区おためし地域おこし協力隊・詳細

実施場所	川上地区
日程	申込→承諾後ご連絡します。
募集定数	4名
対象年齢	20～40歳
内容（予定）	2泊3日を基本とし、活動内容は相談に応じます。
宿泊	川上地区での民泊または近隣のホテル、地域おこし協力隊の住居（空いてる場合）
交通費	宇部空港・厚狭駅までは自己負担
申込期間	随時申込可能
応募方法	問い合わせ先にメール、もしくは電話でご連絡ください。
問い合わせ先	山陽小野田市山陽総合事務所地域活性化室 TEL 0836-71-1602 E-mail : s-soumu@city.sanyou-onoda.lg.jp

やまぐち

山口県の暮らしと
仕事の魅力をお伝えする

YY!ターン カレッジ^{College} 4

やまぐちで見つけよう。(地域おこし協力隊)

開催日

2021年3月11日 木 19:00~2時間程度

オンライン開催

※PC・スマホ等から参加できます

山口県の暮らしと仕事の魅力をお伝えする「YY!ターンカレッジ」。今回は「地域おこし協力隊」のホントのトコロについてのトークセッションです。今後、「地域おこし協力隊」を考える方に向けて、実際の活動の苦労や、任期後の暮らしについてトークしていただきます。

GUEST



山口県出身
原田尚美さん
Naomi Harada
元山口市地域おこし協力隊



広島県出身
中岡佑輔さん
Yusuke Nakao
山口市地域おこし協力隊



東京都出身
川口啓介さん
Keisuke Kawaguchi
光市地域おこし協力隊

地元やまぐちの食文化を盛り上げた、好きなワインを通じて得た知識や経験を生かしたい、と山口市の地域おこし協力隊としてUターン。任期満了後に、山口市阿東で栽培される「徳佐りんご」を使用したスパークリングワイン(シールド)の商品開発と販売を行う。

皮革販売店、レザー教室運営をしていたが、病気をきっかけに生き方を変えるようになり、縁あって山口市の地域おこし協力隊に。ミッションは、山口市南部ニューツーリズム形成業務や、害獣皮のブランド化。キッチンカーでジビエ振興にも取り組んでいる。

キャンプが大好きで、豊かな自然の中で暮らしたいと考え始め、地域おこし協力隊について調べ始める。1年かけて全国各地を検討した中で、光市の地域おこし協力隊のプロモーション動画と地形、歴史等を調べて興味を持ち、2018年に応募。ミッションは、空き家の利活用。

参加
無料

グループトークは
要申込

Schedule

19:00~19:40 トークセッション
19:40~19:55 市町による協力隊募集情報紹介
20:00~21:00 グループトーク(要事前申込)
21:00 終了予定

ゲストを交えたグループトークに参加希望の方は、事前にお申し込みが必要です。

オンライン視聴・参加申込はこちらから

▶▶▶ https://www.ymg-uji.jp/consultation/yyturn_college/



お問い合わせ

やまぐち暮らし東京支援センター TEL.03-6273-4887 yamaguchi@furusatokaiki.net
主催:「住んでみいね!ふちええ山口」県民会議 東京オフィス 2021年第115回ふるさと暮らしセミナー
共催:NPO法人ふるさと回帰支援センター



「やまぐち」のY、「わいわい楽しい暮らし」のYを組み合わせた、山口県へのUターンを意味するキャッチフレーズです。

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)			教育総務課	学校施設係	事務事業番号	109010501
大項目(章)			中項目(基本施策)		小項目(基本事業)	
施策体系	2	市民生活・地域づくり・環境・防災	9	防災体制の充実	1	防災対策等の充実
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング
	5	建築物の耐震強化事業	1	埴生小・中学校整備事業	2-(3)	政策的
事業概要	埴生小学校の校舎の耐震化と小・中学生の社会性の育成を図るため、埴生中学校の敷地を広げ、埴生小学校の校舎を建設し、併せて埴生中学校の校舎を改修する。令和2年度は、生徒棟の改修工事と、使用廃止する埴生小学校校舎の解体工事を行う。				対象	埴生小・中学校の施設
					手段	埴生中学校の敷地を広げ、小中一体型の学校施設を整備する
					意図	埴生小学校校舎の耐震化と小・中学生の社会性の育成

事業期間		H29以前	年度	～	R3	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般				
		H30(決算額)				R1(決算額)				R2(決算額)				R3(予算額)	
支出内訳		工事監理業務委託料	3,200千円		工事監理業務委託	12,374千円		工事監理業務委託料	4,180千円		工事監理業務委託	4,840千円			
		工事請負費	453,067千円		設計委託料	1,903千円		家屋調査委託料	6,921千円		工事請負費	73,857千円			
		家屋調査委託料	2,106千円		通信運搬費	4,544千円		産業廃棄物処分委託料	5,951千円		その他委託料	300千円			
		設計委託料	1,895千円		アスベスト調査委託料	1,489千円		その他委託料	2,671千円		家屋調査委託料(事後)	6,429千円			
		事務費等	98千円		工事請負費	902,224千円		工事請負費	248,529千円		調査設計委託料	1,000千円			
					備品購入費	9,169千円		備品購入費等	1,986千円						
					その他	9,414千円		その他	726千円						
		合 計		460,366千円			941,117千円			270,964千円			86,426千円		
財源内訳／割合	国庫支出金	1/3		45,883千円	1/3		81,515千円	1/3		22,020千円					
	県支出金														
	地方債	90%、75%		389,300千円	90%、75%		783,900千円	90%、75%		196,700千円	75%		56,200千円		
	その他														
	一般財源			25,183千円			75,702千円			52,244千円			30,226千円		
	合 計			460,366千円			941,117千円			270,964千円			86,426千円		
人工数	人件費	1.75人		10,112千円	2.98人		17,210千円	1.83人		10,612千円					
	総経費			470,478千円			958,327千円			281,576千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	児童棟建築工事	活動	着工	完了		
			着工済	完了		
			100.00%	100.00%		
2	生徒棟改修工事	活動		着工	完了	
				着工済	完了	
				100.00%	100.00%	
3	使用廃止後の校舎等解体工事	活動			着工	完了
					着工済	
					100.00%	

成果	令和元年度に児童棟が完成し、令和元年度と令和2年度に生徒棟の改修工事が完了し、市内小中学校校舎の耐震化率が100%となった。令和2年4月に埴生小中学校が開校し児童・生徒が安心、安全で快適な環境で学校生活を送ることができる。					
R4年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R3	
特記事項						

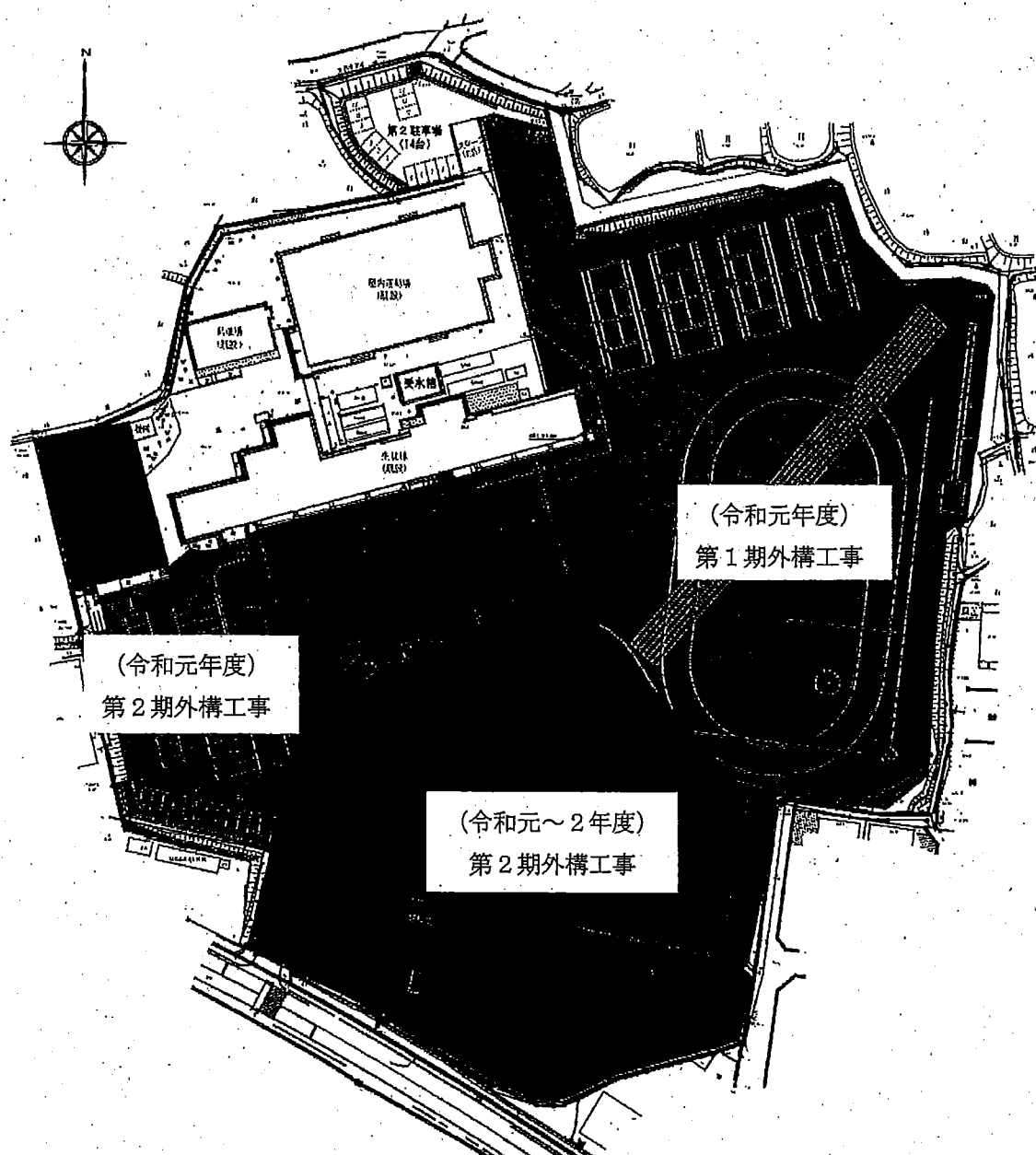
【資料1】

令和元～3年度 埴生小・中学校整備事業工程表(令和元年度完了予定の工事を除く)

場 所	工 事 名	令和元年度				令和2年度												令和3年度											
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
埴生小学校 (現在) (令和2年4月から 耐震化未了の校 舎等を使用廃止)	南側進入路拡張工事					入札	— 契約 — 着工準備 — 施工 —																						
	校舎等解体工事										入札	— 契約 — 着工準備 — 施工 —																	
埴生小・中学校 (令和2年4月開 校)	第2期外構工事	入札	— 契約 — 着工準備 — 施工 —																										
	第2期生徒棟改修工事								入札	— 契約 — 着工準備 — 施工 —																			

【資料 2】

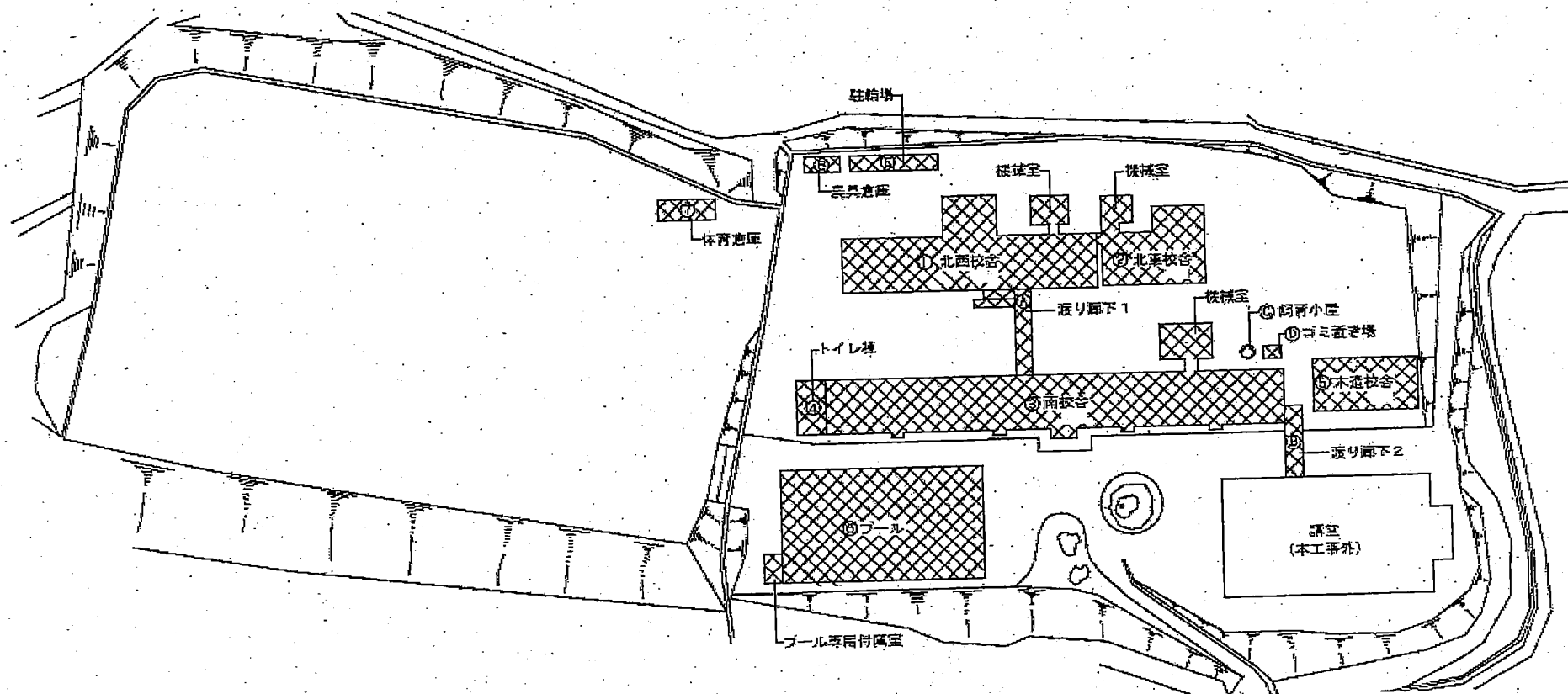
埴生小・中学校外構施工箇所図



【資料 3】

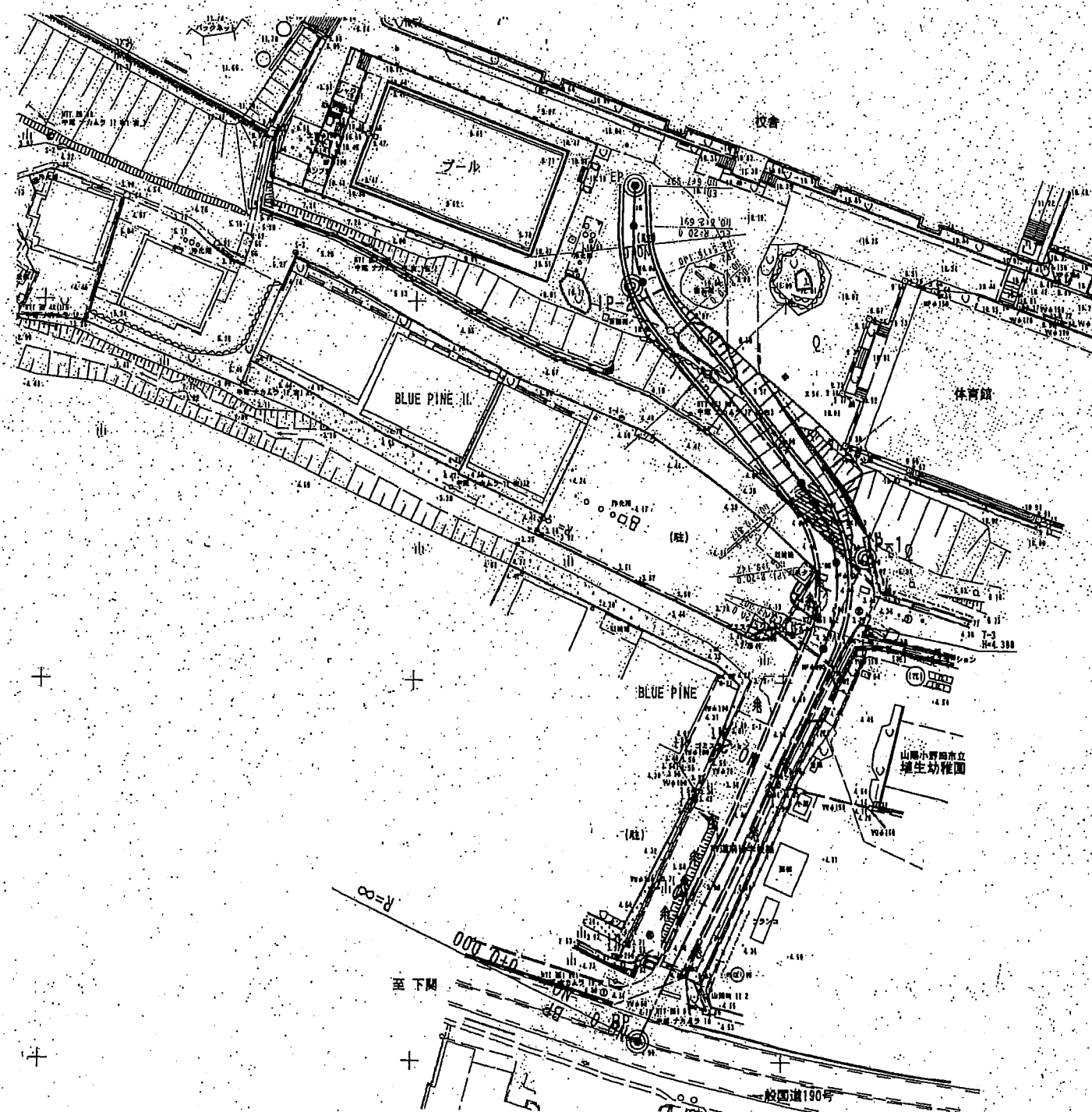
埴生小学校校舎等

解体工事施工箇所図



【資料4】

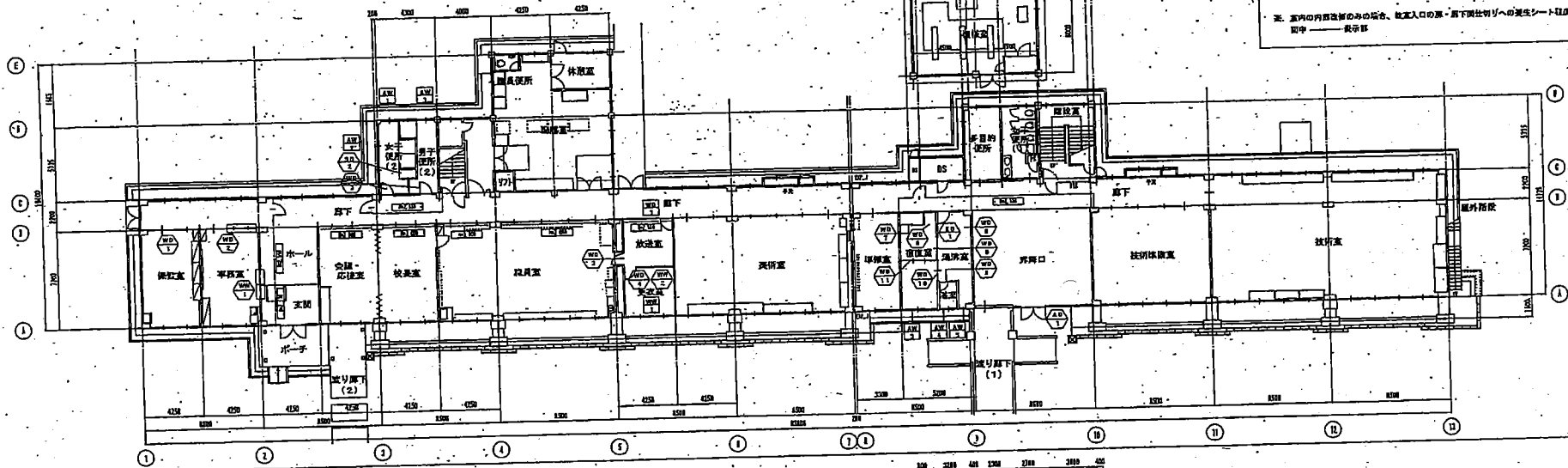
埴生小学校南側進入路拡張工事施工箇所図



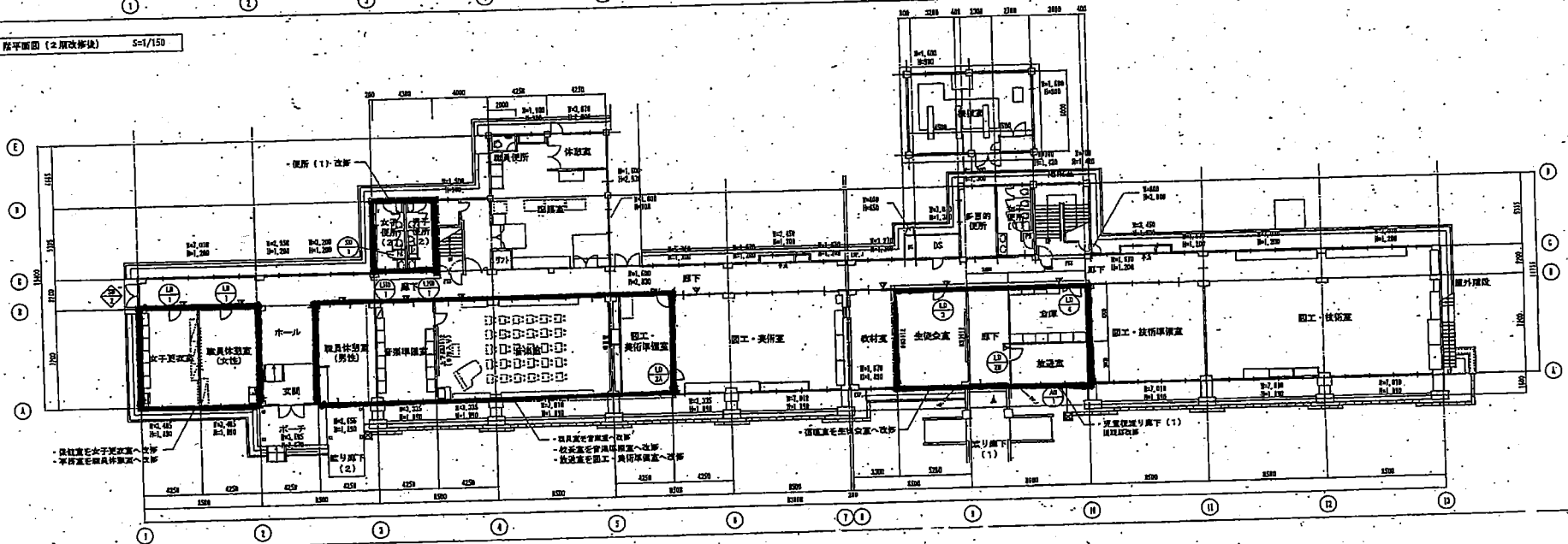
【資料5】 第2期生徒棟改修工事施工箇所図

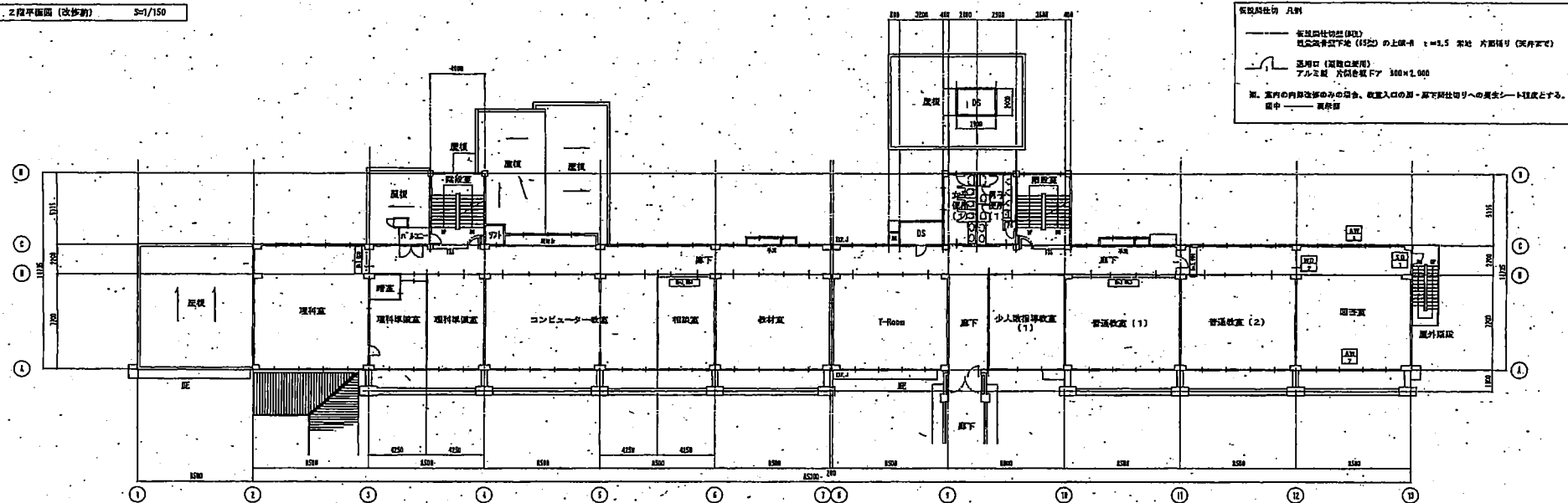
1 階平面図 (改修前) S=1/150

改修箇所 凡例
 改修箇所(赤線)
 改修箇所(赤線)の上部に 1/150 あり 片側張り (赤線)
 通風口 (通風口用)
 アルミ製 片側を板下 100×2,000
 注: 室内の内装改修のみの場合、教室入口の扉・廊下開口部への養生シート設置とする。
 廊下 表示部

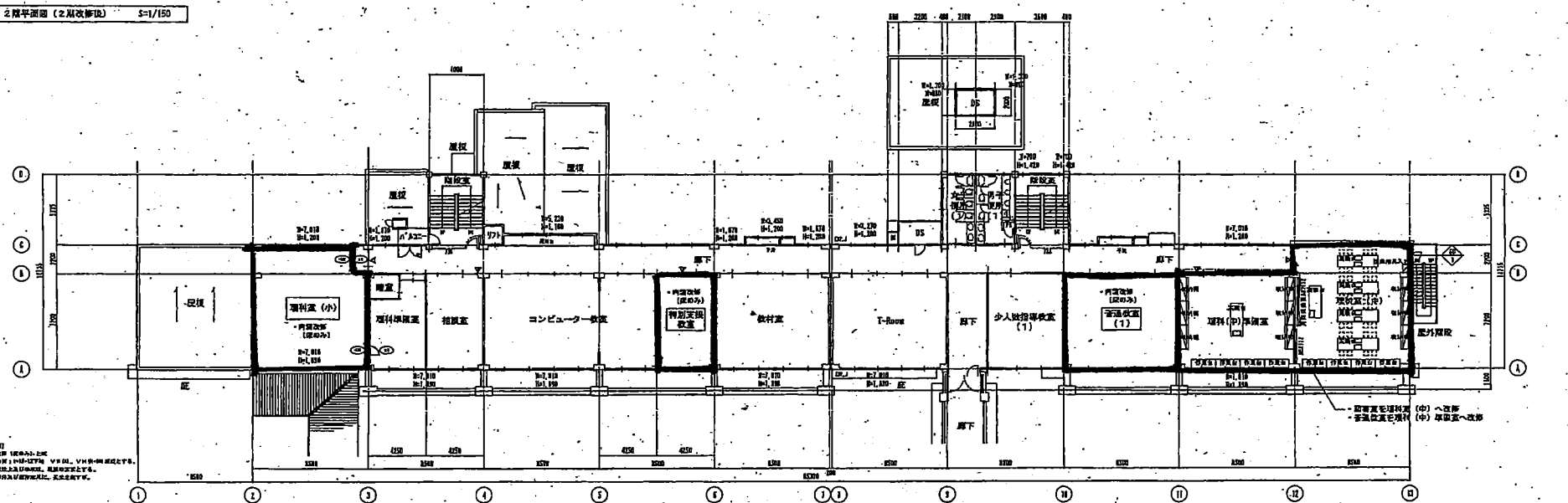


1 階平面図 (2 階改修後) S=1/150





2 层平面图 (2 层改修后) S=1/150

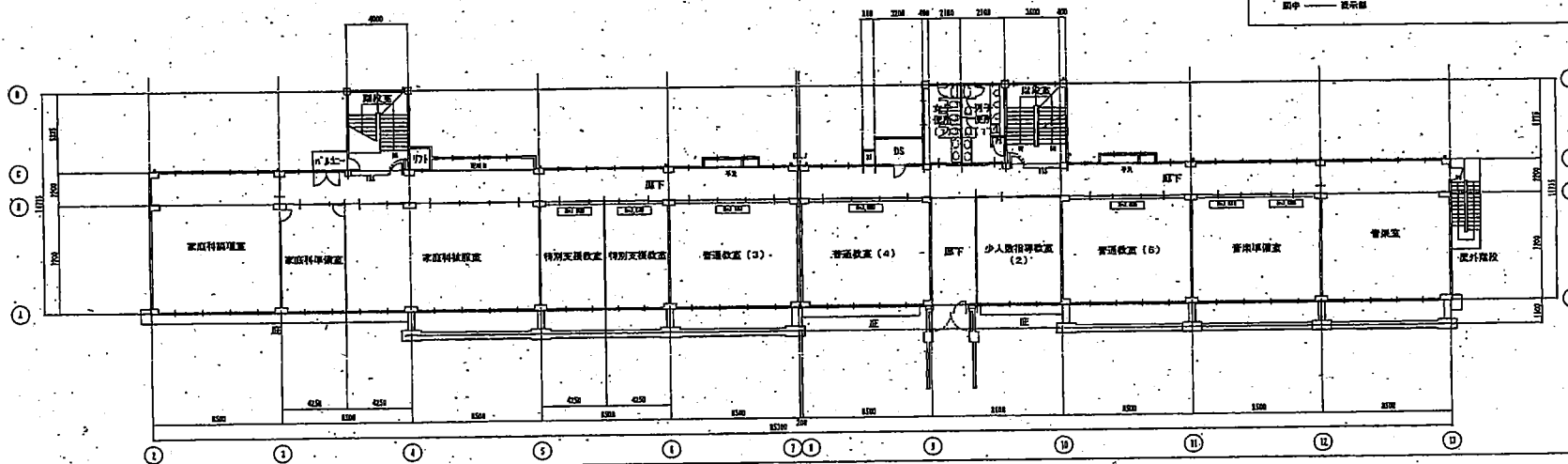
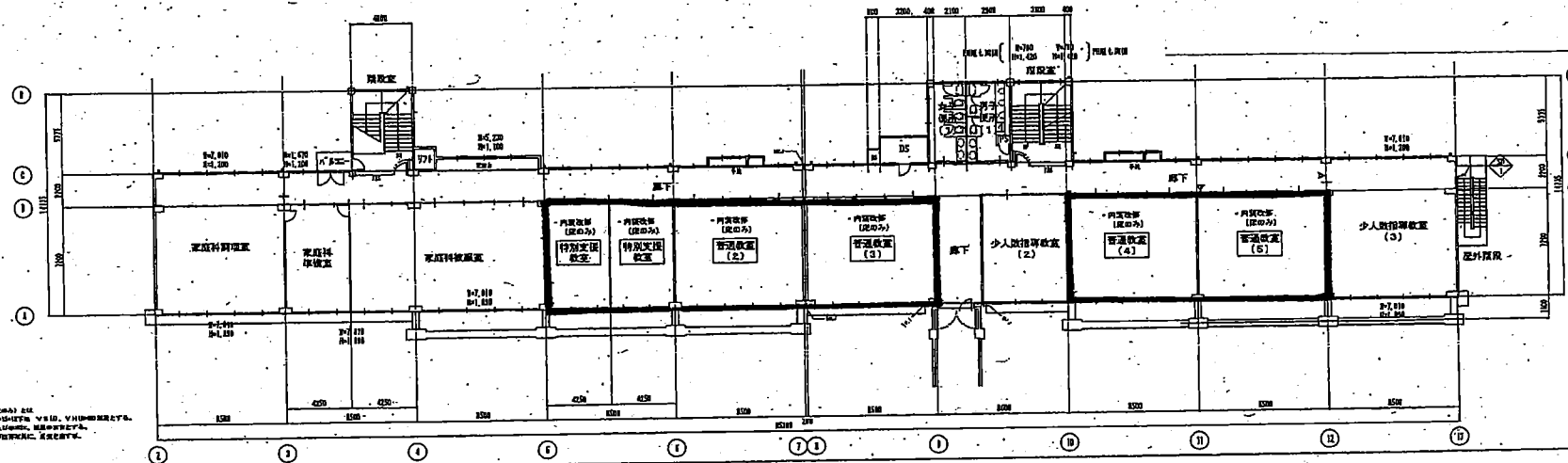
[illegible]

仮設間仕切り 凡例

—— 仮設間仕切り取付部
既設敷き下地 (E2) の上 $\phi=1.5$ 鋼板 片面張り (両面 $\phi=2$)

 排水口 (流出口兼用)
アルミ製 片面張き下 $\phi=900 \times 2,000$

※ 室内の内装改修等の場合、仮設人口の扉・扉下所仕切りへの養生シート張付とする。
図中 —— 既設扉

3 座落西面 (2 期改作路) $S=1/150$ 

【例題】
 - 内面が (1) のとき、
 面積は $\frac{1}{2} \times (1+2) \times 1 = \frac{3}{2}$ 。
 - 内面が (2) のとき、
 面積は $\frac{1}{2} \times (1+2) \times 1 = \frac{3}{2}$ 。
 - 内面が (3) のとき、
 面積は $\frac{1}{2} \times (1+2) \times 1 = \frac{3}{2}$ 。

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)			教育総務課	学校施設係	事務事業番号	109010602
大項目(章)			中項目(基本施策)		小項目(基本事業)	
施策体系	2	市民生活・地域づくり・環境・防災	9	防災体制の充実	1	防災対策等の充実
	実施計画名		事務事業名		重箱プロジェクト	スマイルエイジング
	6	防災対策事業	2	埴生小学校グラウンド法面整備事業		政策的
事業概要	埴生小学校グラウンドの南側法面は市有地で、高さ約7～8m、斜面勾配30°±α度の斜面が100m以上連続しており、平成29年5月にその一部が土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定された。豪雨等により斜面が崩れると、法尻人家に危害を及ぼす恐れがあり、地元住民からも対策の強い要望がなされているため、令和2～3年度の2年間で法面保護工事を行い、暮らしの安全を確保する。				対象	グラウンド南側法面の法尻人家
					手段	斜面勾配を30度未満にし、法枠工による崩落防止対策を施す。
					意図	土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定解除による安全安心な暮らしの実現

事業期間	R1 年度	～	R4 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳			実施設計業務委託料	5,481千円			工事請負費(60%)	56,011千円
							工事請負費(40%)	30,600千円
合計				5,481千円				86,611千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債		100%	5,481千円			100%	86,600千円
	その他							
	一般財源							11千円
合計				5,481千円				86,611千円
人工数/人件費			0.07人	404千円	0.55人	3,189千円		
総経費				5,885千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

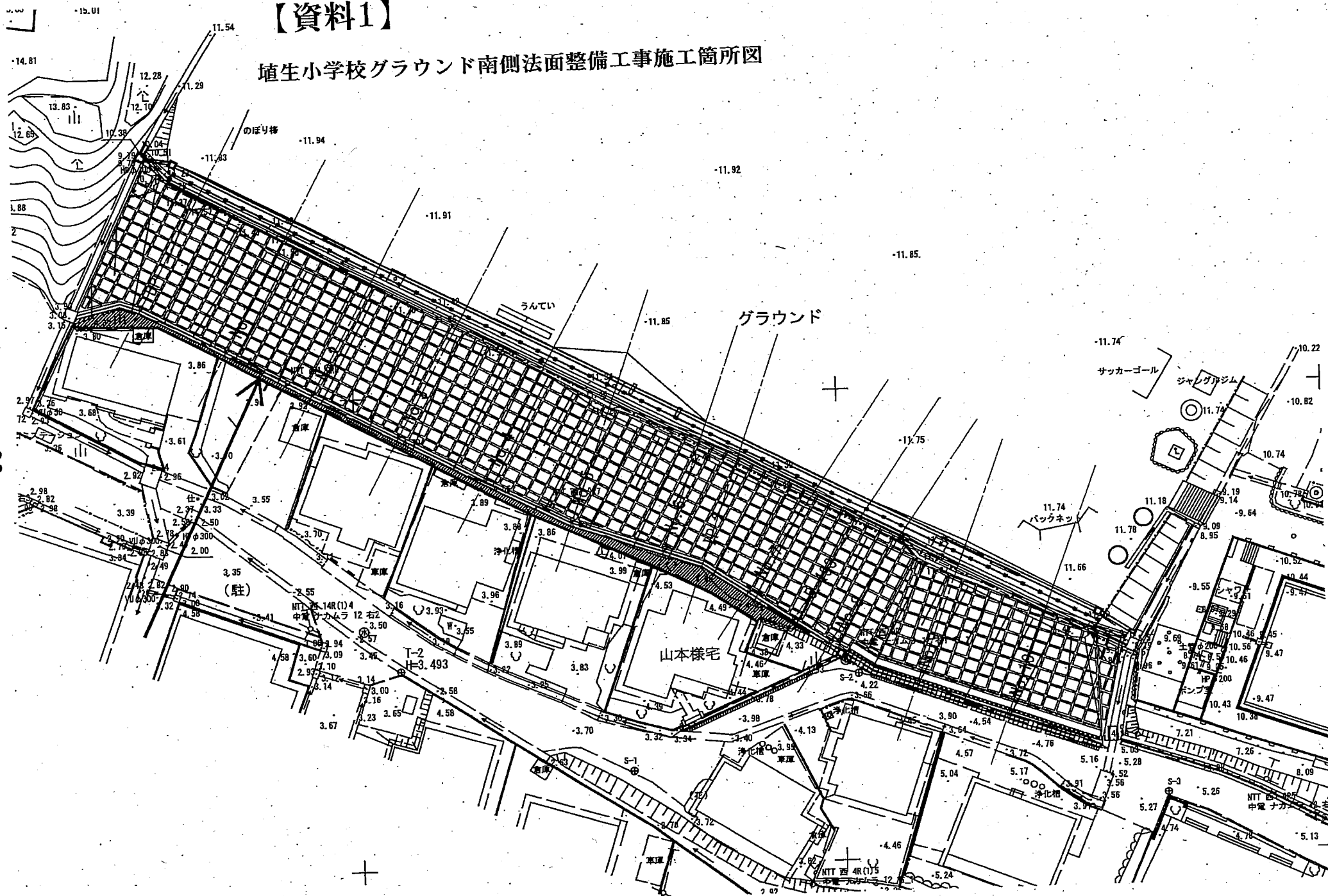
活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1 実施設計	活動			完了		
				完了		
				100.00%		
2 崩落防止対策工事	活動				着工	完了
					入札	
					5.00%	
3 土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定解除	活動					

成果	令和元年度に実施設計を終え、令和2年度から法面工事を行うため埴生西側自治会の住民を対象に地元説明会を行った。住民の方々から多くのご意見を伺い、課題を共有できた。地元住民の方の暮らしの安全を確保できるよう工事をすすめていく。					
R4年度に向けた課題及び改善策	令和3年度中に着実に工事をすすめ完了させる。工事完了後は山口県砂防課と調整し土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定解除について手続きを行う。					
目標達成度	B	R4年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	【R3繰越明許費】30,600千円(40%)					

【資料1】

埴生小学校グラウンド南側法面整備工事施工箇所図

22



R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)			シティセールス課	定住促進係	事務事業番号	131040101
大項目(章)			中項目(基本施策)		小項目(基本事業)	
施策体系	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	4	シティセールスの推進
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング 事業区分
	1	シティセールス推進事業	1	シティセールス推進事業	3-(1)	交流 政策的
事業概要	シティセールスは、「活力と笑顔あふれるまち～スマイルシティ山陽小野田～」の実現に向けて策定した、市シティセールス推進指針に基づき、市の認知度の向上を図り、交流人口の増加、移住・定住促進につなげるため、市の魅力を市内外に発信するものである。このため、ロゴマークとイメージカラー「オレンジ」を積極的に活用するとともに、職員がシティセールスの考え方を共有するための市シティセールス推進指針の改定や職員研修を行った。新型コロナウイルス感染症の影響から、シティセールス推進協議会(庁外の16団体が構成)の開催は中止した。			対象	市内・市外の人	
				手段	情報発信、魅力の発掘	
				意図	交流人口の増加及び移住・定住促進	

事業期間		H30	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	経常	会計種別	一般				
		H30(決算額)				R1(決算額)				R2(決算額)				R3(予算額)	
支出内訳		報償金	145千円	報償金	24千円	消耗品費	310千円	報償金	64千円						
		普通旅費	169千円	普通旅費	144千円	手数料	50千円	普通旅費	270千円						
		消耗品費	1,696千円	消耗品費	337千円	デザイン委託料	55千円	消耗品費	251千円						
		印刷製本費	412千円	印刷製本費	124千円			デザイン委託料	220千円						
		通行料	4千円	デザイン委託料	33千円										
		著作権使用料	1千円	その他	3千円										
		庁用器具費	40千円												
		合 計		2,467千円		665千円		415千円		805千円					
財源内訳 / 割合	国庫支出金														
	県支出金														
	地方債														
	その他	物品売払収入	47千円	物品売払収入	30千円	物品売払収入	6千円	物品売払収入	30千円						
	一般財源		2,420千円		635千円		409千円		775千円						
	合 計		2,467千円		665千円		415千円		805千円						
人工数 / 人件費		1.25人	6,826千円	0.75人	4,130千円	0.35人	1,853千円								
総経費			9,293千円		4,795千円		2,268千円								

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	市公式ホームページ、SNSの閲覧数	活動	1,030,000件/年	1,060,000件/年	1,115,000件/年	1,200,000件/年
			999,159件/年	1,173,939件/年	1,799,406件/年	
			0.97%	110.75%	161.38%	
2						
3						

成果	シティセールス課以外のセクションにおいてもロゴマークとイメージカラー「オレンジ」を積極的に活用しており、本市をPRする動画制作やスマイルチケット、スマイルステッカーを作成するなど、市職員のシティセールスの意識は高まりつつある。また、市民からの使用申請も多く見られ、イベントチラシやパンフレット、工事現場の仮囲いなどで活用された。				
R4年度に向けた課題及び改善策	本市の魅力である「住みよさ」が、市内外の方々にきちんと「伝わる」よう、PRの手法を検討していく。そして、本市の地域性や独自性等を加えて、人々の共感を得られるようなプロモーション活動を積極的に行い、本市の露出をこれまで以上に高めていく。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	現状維持
特記事項					

シティセールス推進事業(令和2年度)

1. ロゴマーク、イメージカラーを活用した情報発信の推進

シティセールス課及び各部署で情報を発信するに当たっては、積極的にロゴマーク、イメージカラーを活用している。

(1) シティセールス課での取扱い

- ・PRロゴマーク缶バッジの配布
- ・PRロゴマークピンバッジの販売
- ・職員用ネクストラップの使用

(2) 各部署での情報発信時の活用

- ・のぼり旗
- ・記者会見用バックボード
- ・そのほか、様々な媒体（印刷物・配布グッズなど）において活用が進んでおり、令和2年度は新たに、新型コロナウイルス感染防止対策取組宣言店に配布するステッカーや、スマイルチケット（商品券）等でも活用した。

2. シティセールスを推進するための庁内の意識共有

(1) シティセールス推進指針の改定（二次改定）

本市におけるシティセールスの定義を再整理してまとめ、一般的なシティセールス（魅力の発信）において目指すべき目標、ターゲット、目指す姿及び取組内容を追加した。

(2) 職員への意識啓発（シティセールス研修会の開催）

シティセールスを効果的に推進するためには、市職員全員がシティセールスマンであるとの自覚を持ち、職務に取り組むことが大切である。そこで、シティセールスに関する本市の取組を共有するとともに、職員の情報発信に対する意識や活用能力を高めるため、研修会を開催した。令和2年度は、入庁9～11年目の若手中堅職員を対象に実施した。

開催年月日	開催時間	参加者数
令和3年 1月27日	9:30～11:30	17人
令和3年 1月28日	13:30～15:30	15人

(3) シティセールス推進本部の開催

シティセールス推進指針に基づき、全庁を挙げて諸施策を推進するため、市長を本部長とするシティセールス推進本部を1回開催した。

【参考】ホームページ、SNSを活用した情報発信の活用促進

〈令和2年度実績〉

情報発信媒体	公開数	閲覧数
山陽小野田市公式ホームページ	3,300	1,420,736
山陽小野田市公式フェイスブック	486	295,617
山陽小野田市公式動画チャンネル	49	27,469
山陽小野田市公式ツイッター	118	55,584
合計	3,953	1,799,406

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 定住促進係 事務事業番号 131040102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	4	シティセールスの推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
	1	シティセールス推進事業	2	シティセールスPR強化事業	3-(1)		政策的
事業概要	第二次総合計画において、「スマイルシティ山陽小野田」をキャッチフレーズとして打ち出したことに伴い、新たなCI戦略を進める上で、平成30年度にキャッチフレーズをモチーフにしたロゴマークを制作するとともに、JR厚狭駅新幹線口に市のPRポスターを掲示した。令和2年度からは、JR小倉駅のデジタルサイネージを活用して市の魅力を発信している。				対象	市内・市外の人	
					手段	JR厚狭駅新幹線口での市のPRポスターの掲示、JR小倉駅でのデジタルサイネージの放映	
					意図	交流人口の増加及び移住・定住促進	

事業期間		H30	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
支出内訳	広告料	194千円	広告料	389千円	広告料	983千円	広告料	983千円			
	デザイン委託料	908千円	商標登録委託料	210千円							
	商標登録委託料	205千円									
	合 計	1,307千円		599千円		983千円		983千円			
財源内訳／割合	国庫支出金	地方創生推進交付金	642千円	地方創生推進交付金	194千円	地方創生推進交付金	491千円				
	県支出金										
	地方債										
	その他							ふるさと支援基金繰入金	983千円		
	一般財源	665千円		405千円		492千円					
	合 計	1,307千円		599千円		983千円		983千円			
人工数	人件費	0.50人	2,889千円	0.15人	866千円	0.10人	580千円				
	総経費	4,196千円		1,465千円		1,563千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	市公式ホームページ、SNSの閲覧数	活動	1,030,000件/年	1,060,000件/年	1,115,000件/年	1,200,000件/年
			999,159件/年	1,173,979件/年	1,799,406件/年	
			0.97%	110.75%	161.37%	
2						
3						

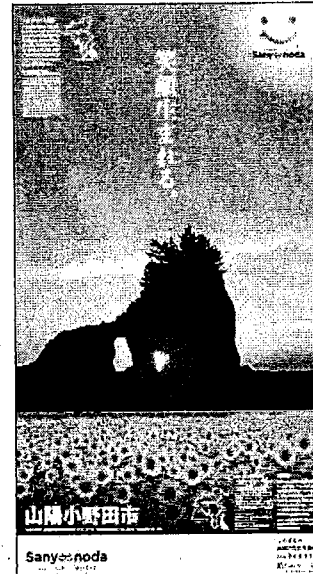
成果	ロゴマークの作成により、本市のキャッチフレーズ「スマイルシティ山陽小野田」の周知やイメージアップにつながっており、JR厚狭駅構内のポスター掲示やJR小倉駅のデジタルサイネージ放映によって、市外の方にも山陽小野田市をPRすることができている。				
R4年度に向けた課題及び改善策	本市の認知度を更に向上させるため、引き続きJR厚狭駅へのポスター掲示と、令和2年度から取り組むJR小倉駅へのデジタルサイネージ放映を行う。合わせて、他のPR方法も検討し、認知度の向上や交流人口の増加を図る。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項					

シティセールスPR強化事業(令和2年度)

1. JR厚狹駅にPRポスターを掲示

JR厚狹駅新幹線口の構内に、市をPRする大型ポスター（縦148cm×横80cm）を2箇所掲示した。

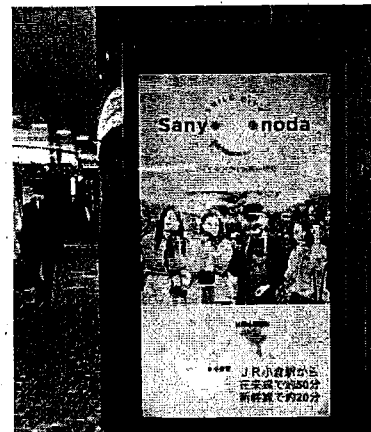
ロゴマークと「笑顔生まれる。」というキャッチコピーを付けて、市のイメージカラー「オレンジ色」をコンセプトに制作。夕焼けに包まれた本山岬公園のくぐり岩と、埴生の観光農園「花の海」で咲き乱れるひまわり畑をデザイン。



2. JR小倉駅にデジタルサイネージ広告を放映

JR小倉駅で人通りの多い3階自由通路コンコース柱に設置されるデジタルサイネージ（65インチ）を活用し、市をPRする画像や動画を放映した。

◎放映時間：7時～23時（2分毎に15秒間放映）



3. その他（県央連携都市圏域における事業）

JR新山口駅構内（在来線側自由通路及び新幹線柵外コンコース）にあるデジタルサイネージに、本市の観光素材やサポート寄附のPRを掲出したほか、観光プロモーション動画を放映した。また、山口宇部空港1階到着ロビーのPRコーナーに、PRポスターを掲示したほか、観光プロモーション動画を放映した。

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)			シティセールス課	観光振興係	事務事業番号	131020202
大項目(章)			中項目(基本施策)		小項目(基本事業)	
施策体系	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング
	2	観光振興事業	2	観光プロモーション事業	3-(1) 3-(2)	政策的
事業概要	令和2年度は、令和元年度に新たに作成した観光パンフレット「スマイル・スポット」の配布のほか、動画を県内民放テレビ局3社(山口放送、テレビ山口、山口朝日放送)で同時期に放映することで山口県内に向けて本市の認知度向上及び交流人口の増加を図った。また、令和元年度に作成した観光PR動画については、JR小倉駅のデジタルサイネージに活用して情報発信をしている。				対象	市外県外の人
					手段	観光プロモーション動画の配信、観光パンフレット「スマイル・スポット」の配布
					意図	本市の認知度向上と誘客

事業期間	R1	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)			R1(決算額)			R2(決算額)			R3(予算額)
支出内訳				観光プロモーション	9,450千円	広告料	1,898千円	印刷製本費	1,100千円	
				業務委託料		手数料	99千円			
合計					9,450千円		1,997千円			1,100千円
財源内訳/割合	国庫支出金			1/2	4,725千円	1/2	998千円			
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源				4,725千円		999千円			1,100千円
合計					9,450千円		1,997千円			1,100千円
人工数(人件費)				0.40人	2,310千円	0.10人	580千円			
総経費					11,760千円		2,577千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	プロモーション(情報発信)	活動		実施	実施	
				実施	実施	
				100.00%	100.00%	
2	パンフレット制作 (日本語・外国語4種類)	活動		3万部		2万部(日本語)
				3万部		
				100.00%		
3	プロモーション動画の制作	活動		制作完了		
				制作完了		
				100.00%		

成果	新型コロナウイルス感染症の収束の目途が経たない状況下では、遠方からの来訪を促す観光プロモーションは行うべきではないと考え、発信エリアを県内に限定し、県内民放テレビ局3社(山口放送、テレビ山口、山口朝日放送)で同時期に放映することにより、広く視聴者の目に留めることができ、プロモーションの効果を得ることができた。					
R4年度に向けた課題及び改善策	令和3年度に観光パンフレット「スマイル・スポット」日本語版を増刷した。山口県内及び北九州都市圏に居住する30代～40代の女性の目に触れる機会を増やすために、高速道路サービスエリア等へ観光パンフレットの設置を検討し、効果的な情報発信を行う。					
目標達成度	R4年度に向けた方向性					
	A	成果	現状維持	コスト	縮小	
特記事項						

観光プロモーション事業

1 事業概要

当初は、テレビCM、インターネット広告、観光旅行関係雑誌等のメディアミックスにより、メインターゲットである県内及び北部九州を中心に発信を行うこととしていた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束予測が経たない状況下では、遠方からの来訪を促す観光プロモーションは行うべきではないと考えられるため、発信エリアを県内に限定した。その場合、限られた予算内で最も効果的なプロモーションが期待できる手法がテレビCMであると考え、県内民放テレビ局3社で同時期に放映を行った。

2 業務内容

令和元年度に作成した観光プロモーション動画3種類（旅の総集編、街並み編、窯業編）のうち2種類（時間各15秒）の映像について、合計25本以上のCM放映を行う。

3 期間

令和2年11月から12月まで

4 決算額

1,997千円

(1) 広告料

1,898千円

①山口放送株式会社

632.5千円

放送素材：観光プロモーション動画（旅の総集編、街並み編）

期 間：令和2年11月23日～12月20日

放 映：28本

②テレビ山口株式会社

632.5千円

放送素材：観光プロモーション動画（旅の総集編、窯業編）

期 間：令和2年11月16日～12月31日

放 映：31本

③山口朝日放送株式会社

633,000円

放送素材：観光プロモーション動画（旅の総集編、街並み編）

期 間：令和2年11月20日～12月31日

放 映：27本

(2) 手数料

99,000円

①CM放映用ディスク作成費

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 131010202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)	
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	事業区分
事業概要	2	広域観光振興事業	2	県央連携事業(広域プロモーション等)	3-(2)	政策的
	山口県央連携都市圏域を構成する7市町全体を会場に見立てて2021年に開催する周遊型博覧会「山口ゆめ回廊博覧会」のプレ博覧会を開催し、圏域全体の広域観光連携の取組を進めた。具体的には、ウェブサイト、SNS、公式ガイドブック、シティドレッシングなどによる広域的広報の下、7市町を周遊する「リアル宝探し」、「JAFデジタルスタンプラリー」等のイベントを実施した。				対象	市内外住民・団体
					手段	広域観光資源創出プロジェクトによる事業運営
					意図	交流人口の増加

事業期間		H30	年度	～	R3	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
支出内訳		普通旅費	20千円	消耗品費	10千円	山口県央連携都市	1,459千円	山口県央連携都市	1,459千円		
		消耗品費	9千円	山口県央連携都市	775千円	圏域事業負担金		圏域事業負担金			
		会場設営委託料	49千円	圏域事業負担金		消耗品費	78千円	普通旅費	100千円		
						手数料	6千円	消耗品費	100千円		
	合 計		78千円		785千円		1,543千円				1,659千円
財源内訳／割合	国庫支出金			1/2	387千円	1/2	729千円	1/2	729千円		
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源		78千円		398千円		814千円		930千円		
	合 計		78千円		785千円		1,543千円		1,659千円		
人工数 人件費		0.15人	867千円	0.45人	1,591千円	0.35人	1,677千円				
総経費			945千円		2,376千円		3,220千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	周遊型博覧会開催	活動			1回(プレ)	1回
					1回(プレ)	
					100.00%	
2	地域通訳案内士育成人数	成果		40人	40人	40人
				36人	54人	
				90.00%	135.00%	
3	市の観光客数	成果	1,050,000人	1,100,000人	1,120,000人	1,150,000人
			1,072,438人	1,160,215人	739,034人	
			102.14%	105.47%	65.99%	

成果	新型コロナウイルス感染拡大により、市の観光客数は、大幅に減少することとなったが、「山口ゆめ回廊博覧会」のプレ博覧会の実施により、圏域内における広域的なPRを実施することができた。地域通訳案内士の育成については、目標を上回る結果となり、本市在住者についても2名が登録された。					
R4年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	C	R4年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R3	
特記事項						

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)		シティセールス課	観光振興係	事務事業番号	131010203
大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)	
施策体系	4 産業・観光	31 観光・交流の振興	1 観光・交流資源の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名	重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2 広域観光振興事業	3 県央連携事業(山口ゆめ回廊博覧会市主体事業)	1-(1) 3-(2)	政策的	
	山口県央連携都市圏域を構成する7市町全体を会場に見立てて2021年に開催する周遊型博覧会「山口ゆめ回廊博覧会」の市主体事業として、ガラスアートフェス、食イベントを実施し、山口ゆめ散歩については、かるた及び竜王山ネイチャーツアーの体験プログラムを造成した。なお、竜王山ネイチャーツアーについては、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。		対象	市内外住民・団体	
			手段	広域観光資源創出プロジェクトによる事業運営	
			意図	交流人口の増加	

事業期間	R2 年度	～	R3 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					報償費	8千円	山口県央連携都市	16,529千円
					山口県央連携都市	889千円	圏域事業負担金	
					圏域事業負担金			
合計						897千円		16,529千円
財源内訳/割合	国庫支出金				1/2	444千円	1/2	6,500千円
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					453千円		10,029千円
合計						897千円		16,529千円
人工数/人件費					0.55人	2,484千円		
総経費						3,381千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1 市町主体事業の開催	活動				1回(プレ)	1回
					100.00%	
2 新たな体験プログラム造成及び実施	活動				6回(プレ)	18回
					2回(プレ)	
					33.33%	
3 市の観光客数	成果				1,120,000人	1,150,000人
					739,034人	
					65.99%	

成果	新型コロナウイルス感染症拡大により、市の観光客数は、大幅に減少することとなったが、市主体事業として歴史や文化をテーマとしたプログラムや地場産食材を使用した食イベント等の通常とは異なるイベントを実施し、本市固有の地域資源をより深く発信することができた。				
R4年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	C	R4年度に向けた方向性			
	成果	完了	コスト	R3	
特記事項					

山口ゆめ回廊博覧会実行委員会負担金

令和2年度

単位：千円

区分	事業名	事業内容	令和2年度予算	山口市	宇部市	萩市	防府市	美祿市	山陰小野田市	津和野町
共通経費	企画運営事業	コンダクター（プロデューサー）委託	10,000	5,380	4,620					
		実行委員会開催経費	600	323	277					
	広報宣伝・ プロモーション事業	ウェブサイト開設・運営	3,000	1,614	1,386					
		ポスター・のぼり旗作成	9,500	5,111	4,389					
		圏域観光パンフレット等作成		0	0					
		公式ガイドブック作成	40,000	21,520	18,480					
		情報発信								
		旅行会社への販売促進・広告	3,400	1,829	1,571					
重点 プログラム	重点プログラム 実施事業	地域ガイドスキルアップ研修に係る各 市町への講師の派遣料	1,100	591	509					
		圏域への訪日外国人旅行者の受入 拡大に向けた体制整備（地域通訳 案内士育成とWiFi等環境整備）	10,000	4,035	3,465	595	879	355	456	215
		各市町重点プログラム「ゆめ散歩」の 外部人材を活用した造成支援（造 成支援スタッフの派遣）	7,000	2,825	2,425	416	616	249	319	150
		周遊イベントの実施（リアル宝探し、ス タンプラリー等）	15,000	6,053	5,197	892	1,319	533	684	322
周遊 プログラム	周遊プログラム 実施事業	周遊イベントの実施（リアル宝探し、ス タンプラリー等）	15,000	6,053	5,197	892	1,319	533	684	322
特別 イベント	特別イベント 実施事業	特別イベント実施事業	34,750	18,695	16,055					
合 計			134,350	67,976	58,374	1,903	2,814	1,137	1,459	687
うち地方創生推進交付金			67,173	33,988	29,187	951	1,407	568	729	343
うち一般財源			67,177	33,988	29,187	952	1,407	569	730	344

令和2年度 山口ゆめ回廊博覧会実行委員会 収支決算書

収入

(単位：円)

項目	R2予算額	R2決算額	主な内容
負担金	134,350,000	134,350,000	各市町負担金
雑入	189	496	預金利子等
繰越金	313,811	313,811	前年度繰越額
合計	134,664,000	134,664,307	

支出

(単位：円)

項目	R2予算額	R2決算額	主な内容
企画運営事業費	10,914,000	10,626,102	・事務局の運営経費 162,137円 ・実行委員会開催 318,120円 ・コンダクター委託 9,999,990円 他
広報宣伝プロモーション事業	55,000,000	55,519,500	・ウェブサイト、SNS開設・運営費 2,061,800円 ・公式ガイドブック作成 6,600,000円 ・シティドレッシング（ポスター、リーフレット、のぼり等作成） 6,620,800円 ・広報関連イベント（除幕式、開幕100日前PRイベント） 857,813円 他
重点プログラム実施事業	18,100,000	18,414,994	・地域通訳案内士育成事業 9,500,000円 ・ゆめ散歩造成事業 6,995,450円 ・ゆめ散歩プログラム販売支援 1,000,000円 他
周遊プログラム実施事業	15,900,000	15,357,375	・リアル宝探しゲーム 「うちら！ななゆめ調査団！2」 14,587,375円 ・JAFデジタルスタンプラリー 770,000円
特別イベント実施事業	34,750,000	34,499,960	・ユニークベニュー 「Yumehaku Art & Food in RURIKOJI」 山口市：香山公園 満月の庭周辺 「Yumehaku Art & Food in TOKIWA museum」 宇部市：ときわミュージアム「世界を旅する植物館」 2会場 34,499,960円
※次年度繰越金		246,376	
合計	134,664,000	134,664,307	

令和２年度山口ゆめ回廊博覧会実行委員会事業

1 広報宣伝、プロモーション事業

- (1) ウェブサイト、SNSの更新
- (2) プレ事業オープニングセレモニー「インフォメーション除幕式」
日付：令和２年１０月４日（山口宇部空港国内線到着ロビー）
- (3) シティドレッシング（ポスター、懸垂幕、のぼり旗等）の実施
- (4) 博覧会開幕１００日前PRイベント

日付：令和３年３月２０日（JR新山口駅周辺）

2 重点プログラム実施事業

- (1) ゆめ散歩プレミアム２０２０
7市町 全１８プログラム 延べ３１回実施
※本市：「恋すてふかるた」１プログラム 延べ２回実施
参加者数：延べ 約２００名
- (2) 山口ゆめ回廊地域通訳案内士の育成
合格者：英語１６名（うち、山陽小野田市居住者２名）、
中国語５名、韓国語２名、スペイン語２名

3 周遊プログラム実施事業

- (1) リアル宝探しゲーム「うちら！ななゆめ調査団！」の実施
期間：令和２年９月１日～１２月２７日
エリア：7市町各２エリア 計１４エリア
※本市：小野田及び厚狭地区各１エリア
参加者数：延べ 約５２，６００名
- (2) JAFデジタルスタンプラリー
「山口ゆめ回廊博覧会先取りコース」
期間：令和２年６月１９日～１２月２３日
立ち寄りポイント：7市町各１施設 ※本市：きららガラス未来館
動員数：１，６７０名

4 特別イベント実施事業（ユニークベニュー事業）

(1) 「Yumehaku Art & Food」

- ・ 山口市（香山公園・満月の庭周辺）

日付：令和2年10月30日、31日

- ・ 宇部市（ときわミュージアム 世界を旅する植物館）

日付：令和2年11月6日、7日

参加者 メディア関係者35名

令和2年度 山口ゆめ回廊博覧会
山陽小野田市主体事業実行委員会収支決算書

(収入の部)

科 目	内 訳	予算額	収入額
山口県央連携都市圏域事業負担金	市主体事業分	2,000,000	888,146
「恋すてふかるた」参加料	「恋すてふかるた」参加料	70,000	59,500
「恋すてふかるた」袴体験料	「恋すてふかるた」袴体験料	60,000	27,200
日本の夕陽百選×食イベント料金	日本の夕陽百選×食イベント料金	392,000	0
合 計		2,522,000	974,846

(支出の部)

科 目	内 訳	予算額	支出額
市主体事業共通		325,000	67,980
役務費	広告料	325,000	0
消耗品費	のぼり旗掲示用ボール及び台座	0	51,920
手数料	振込手数料	0	440
備品購入費	印鑑購入費	0	15,620
山陽小野田市メインプログラム ガラスアートフェス		1,241,000	528,016
報償費	スタンプラリー景品代(ガラス小物)	60,000	11,880
消耗品費	スタンプラリー台座、スタンプ台等	988,000	423,436
通信運搬費	スタンプラリー台送料、チャーター便代	65,000	62,700
委託料		128,000	30,000
	作品運搬・梱包・設置経費等委託料	128,000	0
	オリジナルスタンプデザイン料	0	30,000
ゆめ散歩プレミアム「恋すてふかるた」		405,000	248,850
報償費	講師謝礼	50,000	22,274
消耗品費		275,000	167,376
	記念品制作費	275,000	0
	PRキャラクター等身大パネル	0	165,000
	講演会資料用紙代	0	2,376
役務費	保険料	20,000	2,000
委託料		60,000	57,200
	袴レンタル代一式	60,000	27,200
	イベント委託料	0	30,000
日本の夕陽百選×食イベント		522,000	130,000
報償費	竜王太鼓、JAZZ、ONODAグラス、音響謝礼	130,000	0
委託料		392,000	130,000
	ソル・ポニエンテ(各40人分)	392,000	0
	イベント委託料	0	130,000
予備費		29,000	0
合 計		2,522,000	974,846

令和2年度山口ゆめ回廊博覧会山陽小野田市主体事業

1 主会場・エリア事業

(1) ガラスアートフェス in 山陽小野田

期間：令和2年10月5日～12月25日

スタンプラリーポイント：市内10箇所

参加者数：112名

2 リーディング事業

(文化スポーツ推進課においてガラス文化推進事業で実施)

(1) 第8回現代ガラス展 in 山陽小野田

期間：①令和2年7月1日～6日

入賞作品展示(38点)

②令和2年10月30日～11月8日

受賞作品展示(13点)

場所：不二輸送機ホール

参加者数：407名

3 ゆめ散歩プレミアム2020

(1) 大人の恋にあふれる小倉百人一首で恋すてふかるた

開催日：令和2年11月15日、12月6日

場所：不二輸送機ホール

参加者数：22名

4 地域資源活用事業

(1) 夕陽を見ながらビーチでジビエ肉や海産物のバーベキュー

開催日：令和2年10月25日 場所：ソル・ポニエンテ

参加者数：40名

(2) 夕陽を見ながらサンセットディナー

開催日：令和2年11月8日 場所：ソル・ポニエンテ

参加者数：41名

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校給食センター 管理係 事務事業番号 132020403

大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)	
5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上
実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング
4	学校給食事業	3	学校給食費公会計導入事業		
				事業区分	
				行政内部 管理	
事業概要		多忙を極める教員の働き方改革の一環として、学校による学校給食費の徴収業務を教育委員会の業務として位置づけ、教員の負担軽減を図るとともに、学校給食費会計の透明性の向上を図るため、文部科学省のガイドラインに基づき、公会計システムを導入する。令和2年度はシステムの導入作業を行い、令和3年度から公会計に移行する。		対象	
				学校給食費会計(私会計)	
				手段	
				学校給食費を一元管理する給食費管理システムを構築	
				意図	
				教員の負担軽減と学校給食費会計の透明性の向上	

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					印刷製本費	585千円	消耗品費	46千円
							印刷製本費	381千円
							賄材料費	273,275千円
							通信運搬費	1,081千円
							手数料	1,606千円
							委託料	2,442千円
							使用料及び賃借料	1,584千円
合計						585千円		280,415千円
財源内訳 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他						雑入	270,545千円
	一般財源					585千円		9,870千円
合計						585千円		280,415千円
人工数/人件費					1.20人	6,959千円		
総経費						7,544千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	公会計システムの導入	活動			完了	-
					完了	
					100.00%	
2	学校給食費の収納率	成果				100%
3						

成果	令和2年度に学校給食費システムの導入を完了し、令和3年度より学校給食費システムの運用を開始することができた。				
R4年度に向けた課題及び改善策	学校給食費の滞納者への対策として法的措置を取らざるを得ないことも考慮し、予算措置の準備をしておく必要がある。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	令和3年度より、事務事業名を学校給食費管理事業に変更する。				

令和2年度学校給食費公会計導入事業歳出内訳

品 名	数 量	金 額
口座振替依頼書	200冊(10,000枚)	176,000
納付書	6,000枚	66,000
A4 NIP用紙 (納入通知書用)	12,000枚	32,340
封筒 (案内用)	9,000枚	138,600
窓空き封筒	13,000枚	171,600
計		584,540

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) デジタル推進室 事務事業番号 138010205

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	6.	行財政運営・市民参画・市政情報の発信	38	効率的で効果的な行政運営	1	行政改革の推進	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	行政改革プランによる行革の推進事業	5	RPA及びAI-OCR導入・活用事業			政策的
	他自治体においてRPA及びAI-OCRの導入による作業時間の削減効果が大きい業務と同業務に適用し、定型(単純)業務の自動化により事務処理の効率化を図る。これにより、職員の作業時間の削減、ヒューマンエラーをなくすことができるほか、事務処理の効率化により生じた時間を市民サービス向上に充てる。			対象	税務課、学校給食センター		
				手段	RPA及びAI-OCRツールの利用		
				意図	事務作業の効率化・スリム化		

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					RPA導入・支援委託料	5,500千円	システム利用料	1,760千円
合 計						5,500千円		1,760千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				まちづくり魅力基金	5,500千円		
	一般財源							1,760千円
合 計						5,500千円		1,760千円
人工数/人件費					0.30人	1,739千円		
総経費						17,239千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1 導入業務	活動				3業務	5業務
					4業務	
					133.33%	
2 導入後の作業時間削減率	成果				減らす	減らす
					-79%	
					-	
3						

成果	RPAについては、税務課3業務、学校給食センター1業務に導入し、4業務平均して79%の作業時間削減率が見込める結果となった。また、AI-OCRについては、税務課2業務、学校給食センター1業務の計3業務導入し平均して95%という高い文字の認識率が確認できた。					
R4年度に向けた課題及び改善策	RPAのシナリオ作成にはある程度の経験や慣れが必要。令和2年度は導入当初ということもあり、導入業者にシナリオ作成の支援をお願いし、複雑な業務をRPA化し大幅な業務の削減も達成できた。令和3年度からは職員のみでシナリオ作成をしなければならないため、まずはシナリオ作成しやすい業務から順に業務のRPA化を推進していく。					
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項						

■RPA及びAI-OCR導入・活用事業

1 目的

職員によるパソコン操作を自動化するRPA（Robotic Process Automation）、及び紙媒体に記載された文字を読み込みテキストデータに変換するAI-OCRといったICT技術を活用し、定型業務の自動化・省力化により事務処理の効率化を図る

2 契約期間

令和2年6月15日から令和3年3月31日まで

3 契約の相手方

株式会社サンネット

4 契約金額

5,500千円（税込）

5 導入業務及び概要

導入業務	業務概要	所管課
学校給食費システム 口座情報登録業務	給食費の公会計管理を開始することに伴い、対象者から申請された口座情報をシステムに入力	学校給食センター
個人市民税特別徴収 異動届入力業務	事業所から届出のあった特別徴収の異動情報をシステムに入力	税務課
個人市民税収納消込 業務	金融機関から紙媒体で送付される収納情報をシステムに入力	
口座情報削除業務	使用していないにも関わらずシステムに残っている口座情報の削除	

※口座情報削除業務については、必要な情報をデータで保持していたため、AI-OCRは活用していない。

6 効果検証

(実績ベース)

業務名	件数	導入前	導入後	導入効果
学校給食費システム 口座情報登録業務	125 件	4 時間	3 時間	△1 時間
個人市民税特別徴収 異動届入力業務	113 件	5 時間	1.5 時間	△3.5 時間
個人市民税収納消込 業務	437 件	10 時間	0.25 時間	△9.75 時間
口座情報削除業務	11,393 件	269 時間	3 時間	△265 時間 (削減率：99%)



(年間換算 (見込))

業務名	件数	導入前	導入後	導入効果
学校給食費システム 口座情報登録業務	3,809 件	126 時間	99 時間	△27 時間 (削減率：22%)
個人市民税特別徴収 異動届入力業務	3,033 件	141 時間	33 時間	△108 時間 (削減率：77%)
個人市民税収納消込 業務	5,244 件	123 時間	3 時間	△120 時間 (削減率：98%)
口座情報削除業務	11,393 件	269 時間	3 時間	△266 時間 (削減率：99%)
合計		659 時間	139 時間	△521 時間 (削減率：79%)

(年間の人件費の比較 (見込))

業務名	導入前	導入後	導入効果
学校給食費システム口座情報登録業務	296 千円	232 千円	△64 千円 (削減率：21%)
個人市民税特別徴収異動届入力業務	217 千円	50 千円	△167 千円 (削減率：77%)
個人市民税収納消込業務	149 千円	3 千円	△146 千円 (削減率：98%)
口座情報削除業務	363 千円	4 千円	△359 千円 (削減率：99%)
合計	1,025 千円	289 千円	△736 千円 (削減率：72%)

＜定性評価＞

- ・単純な入力誤りなど、ヒューマンエラーの減少が見込まれ、正確性の向上が期待できる
- ・入力をRPAが行っている時間、職員は他の業務に注力することが可能
- ・RPAの導入に伴う業務フローの再確認が、作業の効率化を検討する機会にも繋がる

7 今後の展開

- ・庁内全部署に対してRPA・AI-OCRへの導入に係るアンケートを実施済み。
- ・アンケート回答の中から、年間件数や処理頻度、業務フロー等を勘案し、導入効果が見込めやすい福祉部署のシステム入力業務やアンケート集計業務など4業務を選定。
- ・4業務中、中期基本計画に係るアンケート集計業務については、8月上旬にAI-OCRを導入し業務の効率化・省力化を図った。
- ・残りの3業務については、今年度中の導入に向け、原課の担当者と協議を進めていく。

R2年度 事務事業評価シート

R2年度 事務事業評価シート				課・局・室・所(係)	税務課	事務事業番号	139020113			
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	6	行財政運営・市民参画・市政情報の発信		39	健全な財政運営		2	自主財源の確保		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分	
	1	各種賦課事業		13	帳票類アウトソーシング事業					行政内部 管理
	事業概要									
県内5市2町による住民情報系システムの共同調達(やまぐち自治体クラウド)において、帳票印刷・封入封緘業務を外部委託するもの。										
				対象	住民情報系システム通知書等の印刷・裁断・圧着・封入封緘					
				手段	民間業者への外部委託					
				意図	事務処理の効率化・スリム化、ヒューマンエラーの防止、更なる市民サービスの向上					

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					帳票類印刷・封入等委託料	6,032千円	帳票類印刷・封入等委託料	7,748千円
合 計						6,032千円		7,748千円
財 源 内 訳 割 合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					6,032千円		7,748千円
合 計						6,032千円		7,748千円
人工数/人件費					0.05人	290千円		
総経費						6,322千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	帳票印刷・封入封緘委託業務数	活動			26業務	27業務
					26業務	
					100.00%	
2	帳票印刷・封入封緘作業に要する職員の従事時間(割合)	成果			減らす	減らす
					-60.1	
					-	
3						

成果	「特定の時期に集中する業務」、「定型的な大量の業務」に関して実施したため、事務の効率化、スリム化は図られた。導入初年度でもあり確認作業を含む一連の流れに時間を要したこともあったが、印刷及び封入封緘に係る作業時間は減少した。					
R4年度に向けた課題及び改善策	事務作業の効率化・スリム化により生じた時間的余裕で業務の精度向上のほか、職員が非定型・裁量的業務により集中することが可能となる。市民サービスの向上につながることから、委託可能な業務が少しでも増えるよう業者と調整しつつ、今後も継続していく必要がある。					
目標達成度	B	R4年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

帳票類アウトソーシング事業 補足資料

1 委託先

株式会社サンネット 広島市中区袋町4番21号

(県内5市2町による住民情報系システムの共同調達〔やまぐち自治体クラウド〕
メニューの一環で導入)

2 令和2年度決算状況等(導入8課)

会計名	所属	主な帳票名	決算額	削減時間 (削減率)
一般会計	税務課	市県民税特別徴収納入書 軽自動車税納税通知書 固定資産税納税通知書	6,031,520円	1,072時間 (60.1%)
	子育て支援課	乳幼児医療費助成制度受給者証 児童手当現況届 保育所利用料決定通知書	1,521,300円	415時間 (83.7%)
	障害福祉課	重度心身障害者医療費助成制度 受給者証	29,700円	0.5時間 (25%)
	建築住宅課	公営住宅家賃・駐車場納付書	128,700円	16時間 (100%)
	選挙管理委員会 事務局	投票入場券はがき	423,500円	46時間 (95.8%)
国民健康保険 特別会計	国保年金課	国民健康保険料納入通知書 確定申告用納付確認書 督促状兼納付書	3,322,110円	791時間 (91.2%)
後期高齢者医療 特別会計	国保年金課	後期高齢者医療保険料納付書	406,010円	
介護保険 特別会計	高齢福祉課	高額介護サービス費支給決定通 知書 介護保険料納入通知書	3,450,810円	481時間 (94.7%)
下水道 特別会計 (※公営企業会計)	下水道課	受益者負担金納付書	25,850円	0.5時間 (7.1%)
合 計			15,339,500円	

3 全体の導入効果

(1) 年間の作業時間（延べ時間）の比較

委託前	委託後	増減
3,729時間	907時間	△2,822時間（△75.7%）

(2) (1)のうち時間外の作業時間（延べ時間）の比較

委託前	委託後	増減
1,270時間	332時間	△938時間（△73.9%）

(3) 年間の人件費の比較

委託前	委託後	増減
8,899千円	2,193千円	△6,716千円（△75.4%）

(4) 将来的な機器調達費及び維持管理費の比較

委託前	委託後	増減
約5,300千円／年	—	△約5,300千円／年

※大型高速プリンター、バスター（裁断機）、シーラー（圧着機）など専用機器の調達、維持管理が不要となる。

(5) その他の効果

- ・ヒューマンエラーの防止
- ・さらなる市民サービスの向上

事務作業の効率化により生まれた時間は、政策の企画立案、業務改善など職員がすべき分野の業務に注力することに充て、これにより市民サービスの向上を図る。

4 今後の方向性

限られた人員、財源の中で多様化する市民ニーズに対応するためには、費用対効果を考慮しつつ積極的に民間を活用し、事務作業の効率化を図る必要がある。また、経費の削減だけではなく、市民サービスの向上につながるという効果は、行政改革を進める上で重要な観点の1つである。導入初年度でもあり確認作業を含む一連の流れに時間を要したものもあったが、全体的に作業時間の減少がみられることから、今後も継続して実施する必要がある。

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020721

大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
施策体系	5	学校教育の推進	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	事業区分
	7	学校ICT環境整備事業	21	GIGAスクール端末整備事業	2-(3)	政策的
事業概要	令和2年度にGIGAスクール構想の実現により、学校の教室で、無線LAN環境が整い、12月にすべての児童生徒1人1台ずつタブレット端末が整備される予定である。児童生徒が学校でのインターネット通信が可能となるようWi-Fi環境を整える。				対象	児童生徒及び教職員
					手段	タブレット端末活用のための導入支援
					意図	1人1台端末を活用した効果的な授業を行うための基盤をつくる。

事業期間	R1 年度	～	R7以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					工事委託料	119,014千円	通信運搬費	8,451千円
					機械器具費	342,327千円	保守委託料	263千円
					通信運搬費	889千円		
					消耗品費	760千円		
合計						462,990千円		8,714千円
財源内訳/割合	国庫支出金				100%	268,649千円		
	県支出金							
	地方債				100%	63,200千円		
	その他							
	一般財源					131,141千円		8,714千円
合計						462,990千円		8,714千円
人工数/人件費					0.40人	2,320千円		
総経費						465,310千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	タブレット端末の整備台数	活動			5,340台	5,340台
					5,340台	
					100.00%	
2						
3						

成果	すべての児童生徒に1人1台の端末を整備することができた。また、各学校の教室でのWi-Fi環境が整備された。					
R4年度に向けた課題及び改善策	児童生徒1人1台整備された端末を有効活用を促すとともに、破損等今後生じる課題に対応していく必要がある。					
目標達成度	R4年度に向けた方向性					
	A	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)			学校教育課	学務係	事務事業番号	132020720
大項目(章)			中項目(基本施策)		小項目(基本事業)	
施策体系	5	学校教育の推進	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング
	7	学校ICT環境整備事業	20	GIGAスクール家庭学習推進事業		政策的
事業概要	インターネットに接続する環境のない家庭に対して、モバイルルーターを貸与し、1人1台の端末を活用した家庭における学習を推進する。				対象	児童、生徒及びその家族
					手段	モバイルルーターの貸与
					意図	端末を活用した学習の充実

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					通信運搬費	4,083千円	通信運搬費	16,334千円
					機械器具費	6,228千円		
合計						10,311千円		16,334千円
財源内訳/割合	国庫支出金				50%	4,260千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					6,051千円		16,334千円
合計						10,311千円		16,334千円
人工数/人件費					0.20人	1,160千円		
総経費						11,471千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		H30	R1	R2	R3
1 小学校回線数				267回線	267回線
				267回線	
				100.00%	
2 中学校回線数				163回線	163回線
				163回線	
				100.00%	
3					

成果	家庭へのアンケート調査を実施し、調査結果において通信環境が整わないの家庭には、貸出用ルーターを令和3年2月に整備した。令和3年度以降、通信環境のない家庭には貸出用ルーターを使用できる環境づくりを実施した。				
R4年度に向けた課題及び改善策	家庭での学習を充実していくために、整備された情報端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭での活用を推進していく。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					